令和２年度　シラバス

第２学年
普通科
スポーツ科学コース

鳥取城北高等学校

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース(体育)	履修形態	必修

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。
学習内容の概要	・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深め発展させる。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに文体の表現上の特色をとらえる。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

教科書、教材など	新 高等学校現代文B(明治書院)新 高等学校現代文B 学習課題ノート(明治書院)
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4	「月あかり雪あかり花あかり」	随想の読み方を習得する。	自分の体験にひきつけて読み解く。	9	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
		「詩を翻訳する少年」	自己表現について主体的に考え、実行していく契機とする。	自らの言語生活を振り返ってみる。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
	5	「山月記」 「赤い繭」	近代・現代小説の名作に触れ、自分にひきつけながら読む態度を養う。	短編小説の舞台設定、構成、構造、文体の特徴をつかみ、登場人物について的確に読み取る。	9	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」	小説の特徴を掴み、その特徴を生かした物語の構造いついて理解を深める。	書き分けられた表現について考える。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
	6	「心の鉱脈」	論理的な文章の読み方を習得する。	文章から筆者のものの見方、考え方、感じ方を読み取る。	12	授業態度・発問評価・指名音 ノート・学習課題ノートの提出
		「幸福について」	日常生活の心理を見つめ直し、それらが与える影響について考える契機とする。	論理の展開や要旨を的確に捉え、各自の問題として考える。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出

	7	「旅上」	詩にこめられた情景や心情を読み取る。	韻律に注意し、描かれた情景や心情にふさわしい朗読を工夫する。	12	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
		「永訣の朝」	詩にこめられた作者の思いを読み取り、言語に対する感性を磨く。	文体や修辞技法などの表現の工夫からその特色と効果を考える。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
		「弟に速達で」	現代詩の鑑賞のしかたを習得する。			授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
2	8	「愛づる　時間を見つめる」	古語の「愛づる」の意味を現代の視点で分析し、「生きること」の本質を見つめ直す。	副題の意味を全体を通して読み解く。	3	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
	9	「宇宙では『上』も『下』もない？」	論理的な文章を読むことで、学習者自身が問題意識を見出す。	発想を転換して、新鮮な視点から物事を捉える。	12	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		「ロボットとは何か」	日常生活で当たり前のものを、社会的な視点で捉え直す。	提起された問題を筆者がどのような視点で考察しているか捉える。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
	10	「ナイン」	作品の主題を理解し、人や人生に対する見方を深める。	地域社会の暮らしと人情について実感をもって文章を味わう。	12	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		「白紙」	小説世界を自己のものの見方や考え方に引きつけて考える。	私の思いや最後の言葉に込められた気持ちについて話し合う。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
	11	「コンコルドの誤り」	要旨や構成を把握し、それらを個人的な経験と結び表現活動を行う。	具体例や対比の表現などから筆者の主張をとらえる。	12	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		「通潤橋　橋と日本人」	随想と評論の特色を併せ持った文章を読み、理解して味わう。	科学者と歴史家の目を備え、広い視野に立つ論考を理解する。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
	12	「風が来てささやくやうに」 「いきいきとほそ目かがやく」	近現代の代表的な作者の作品を鑑賞することで、短歌・俳句を自作する参考にする。	文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、作品を深く味わう。	12	授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
		「絵はすべての人の創るもの」	辞書的な意味から離れ、多様な意味を持つ言葉を理解する。	個性について、自分自身の考えを持つ。		授業態度・発問評価・指名音読 ノート・学習課題ノートの提出
3	1	「『間』の感覚」	東西の文化を比較して日本文化を相対化しつつ捉え、特異性を理解する。	対比によって論点を明確にしていく論じ方を学び、比較文化論の観点から認識を深める。	6	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
	2	「美を求める心」	同じ主題を別の視点から読み解き、視野を広げて考える。	自ら具体例を考えて読み解く。	9	授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
		「こころ」	作品を深く読んで人間のあり方についての問題意識をつかむ。	登場人物の生き方と、自己の生き方とを対比して、考えたことを自分の言葉でまとめ発表する。		授業態度・発問評価 ノート・学習課題ノートの提出
	3	「報道文と判決文」 「企画書を書く」	実用的な文章について学び、日常の具体的な表現活動に役立てる。	自分の考えがよく伝わるように論拠を明示して、わかりやすく表現する。	9	授業態度・発問評価 文の提出

教科名	地理歷史	科目名	世界史A	単位数	2単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース	履修形態	必修

科目の目標	1 近現代史を中心とする世界の歴史を、わが国の歴史と関連付けながら理解させる。 2 人類が直面する課題を政治・経済・文化・生活など様々な観点から考察させることによって、歴史的思考力を育てる。 3 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を育成する。
学習内容の概要	近世以前の諸地域世界の特質をつかんだ上で、大航海時代を背景にアジア世界とヨーロッパ世界が接触や交流・進出を深め世界が一体化に向かいはじめる状況を概略的に把握する。また、近現代史以降一体化がさらに進んでいく状況を、わが国と関連付けながら歴史的に理解し、あわせて人類の今後の課題について具体的に考察する。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	a.関心・意欲・態度	b.思考・判断・表現	c.資料活用の技能	d.知識・理解
	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとしている。	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見出し、世界史的視野にたって多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追及し考察した過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。

教科書、教材など	教科書 明解 世界史A（帝国書院） 副教材 明解 世界史Aノート（帝国書院）
授業形態	講義形式・グループ学習（学級単位による授業）

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4	1部 世界の一体化と日本 1章 前近代の諸文明 序節 人類の始まり	各地域世界が形づくられていく過程を理解する。	人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産革命。人類が文明を築き、歴史時代へはいっていくありさまを概観。	6	【関】食料生産革命、文明の成立などについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、人類史について考えようとしている。 【思】この時代について考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】先史時代について概観し、人間の進化を把握するとともに、基本的知識を身につけている。
		1節 東アジアの文明	東アジアを通して、日本を含む東アジアの文明の特質を理解する。	東アジアの風土と諸民族、封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、冊封体制。		【関】東アジアについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、東アジアの特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】日本を含む東アジアの文明の特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。

	5	2節　南アジアの文	南アジアの文明の特質を理解する。	南アジアの風土と諸民族と宗教。仏教、ヒンドゥー教、イスラームの影響。	6	【関】南アジアについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、南アジアの特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】南アジアの文明の特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。
		3節　東南アジア	東南アジアの特質を理解する。	自然環境や地理的位置に着目。インドと中国の両文明の影響の様子。それぞれの地域での多様な社会と文化。		【関】東南アジアについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、東南アジア世界の特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】東南アジアの特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。
		4節　西アジア・北アフリカの文明	西アジア・北アフリカの文明の特質を理解する。	西アジア・北アフリカの風土と諸民族。イスラームの成立と拡大・分裂。		【関】西アジア・北アフリカについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、西アジア・北アフリカの特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】西アジア・北アフリカがの成立とその特色、地域的な拡大と独自の世界の形成について、イスラーム国家の柔軟性やムスリム商人の役割などを把握し、基本的知識を身につけている。
	6	5節　ヨーロッパの文明	ヨーロッパの文明の特質を理解する。	ヨーロッパの風土と諸民族。ギリシア・ローマ文明の伝統。キリスト教の発展。封建社会。	8	【関】ヨーロッパについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、ヨーロッパ文明の特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパの文明の特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。
		6節　南北アメリカの文明	南北アメリカ大陸において独自の文化が築かれていたことを理解する。	南北アメリカ大陸の風土と先住民。ヨーロッパが進出する以前の南北アメリカ大陸独自の文化。		【関】南北アメリカの独自の文明に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、特質について考えようとしている。 【思】特質を考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】南北アメリカの文明の特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。
		7節　ユーラシアの交流圏	ユーラシアの交流圏が成立していくようすを巨視的かつ視覚的に把握し、相互の文化受容の進展について理解する。	ユーラシア規模の交流圏が成立していくようす。		【関】ユーラシアの交流圏のに対する関心を高め、意欲的に追究し、考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域(都市や港市)のネットワークを把握し、基本的知識を身につけている。

	7	2章　一体化に向かう世界 1節　繁栄するアジア	アジア諸地域の安定した支配と経済の繁栄を背景に、文化も黄金時代を迎えたことを理解する。	アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会と文化。	8	【関】アジア諸地域に対する関心を高め、意欲的に追究し、その特色について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】成熟期を迎えたアジア諸地域の特色を理解し、その知識を身につけている。
2	8	2節　大航海時代と新たな国家の形成	16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパのわく組みとなった主権国家体制の形成について理解する。	ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓。16世紀頃から始まった主権国家体制の形成。	2	【関】16～18世紀にかけてのヨーロッパ世界に対する関心を高め意欲的に追究し、考察しようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパではルネサンスと宗教改革、新航路の開拓を経て主権国家体制が形成され、アメリカではヨーロッパ人による征服と入植・開発が先住民社会の変質を余儀なくしたこと、またアジア貿易への参入やメキシコ銀の流入がヨーロッパ経済の成長と転換をもたらしたことを把握し、その知識を身につけている。
	9	3章　欧米の工業化とアジア諸国 の動揺 1節　ヨーロッパとアメリカの諸革命	市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。	アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命。西ヨーロッパとアメリカの産業社会。	8	【関】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に対する関心を高め、意欲的に追究し近代世界が確立したことについて考えようとしている。 【思】社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを判断して、一連の思考の過程を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用して、社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを考察する技能を身につけている。 【知】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命について理解し、その知識を身につけている。
	10	2節　自由主義・ナショナリズムの進展	自由主義とナショナリズムが進展していくようすとアメリカの発展について理解する。	19世紀後半のヨーロッパ、アメリカ社会。	8	【関】1848年頃に関心を持ち、意欲的に追究し、考えようとしている。 【思】1848年頃を考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】1848年頃のを資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】1848年を転換点として、自由主義とナショナリズムが進展したことを理解し、その知識を身につけている。
		3節　アジア諸国の動揺	アジア諸国の動揺のようすを理解する。	オスマン帝国の弱体化やムガル帝国の崩壊。ヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況。植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折。伝統文化の変容。		【関】ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、その特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況など、アジア諸国の動揺を理解し、その知識を身につけている。

	11	4節　東アジアの大変動	東アジアの大変動を理解する。	アヘン戦争やアロー戦争。東アジアの伝統的な国際秩序が崩壊していく過程。ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況。半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折。	8	【関】ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、その特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況、半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、その中での日本の対応など、東アジアのようすを理解しその知識を身につけている。
		2部　地球社会と日本 1章　現代世界の芽ばえと世界大戦 1節　現在につながる社会の形成	20世紀という時代の特質を把握するとともに、世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解する。	交通革命。マス=メディアの発達。企業や国家の巨大化。社会の大衆化と政治や文化の変容。公教育の普及と国民統合。世界の変容。		【関】19世紀社会の急激な変化と世界の一体化に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、その特質を人類史的視野から考えようとしている。 【思】考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】20世紀という時代の特質を人類史的視野から把握するとともに、人口移動から世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解しその知識を身につけている。
	12	2節　第一次世界大戦がもたらしたもの	20世紀初頭の変化の様相を理解する。	第一次世界大戦。ロシア革命、ソヴィエト連邦の成立。戦争と革命による国際秩序の変化。アメリカの大衆生活とその波及。	8	【関】第一次世界大戦、平和の意義などに対する関心を高め意欲的に追究するとともに、20世紀初頭の変化の様相について考えようとしている。 【思】考察し一連の思考の過程を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】第一次世界大戦の原因と性格、ロシア革命の展開と影響、戦争と革命による国際秩序の変化、国際協調とヴェルサイユ体制、アメリカ的生活様式の資本主義社会への普及について理解し、その知識を身につけている。
3	1	3節　"民族自決"を求めて	"民族自決"を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。	インド・中東および東アジアの民族運動。アジアのナショナリズム。	4	【関】民族運動に対する関心を高め意欲的に追究するとともに、アジアのナショナリズムの動きについて考えようとしている。 【思】考察し一連の思考の過程を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】第一次世界大戦後の民族運動の動向が世界史の新しい潮流をつくり出したことを理解し、その知識を身につけている。
		4節　経済危機から第二次世界大戦へ	第二次世界大戦と20世紀前半の国際政治の流れを概観し、国際関係の変遷と社会の特質を理解する。	第二次世界大戦。及ぼした影響。平和の意義。国際政治、国際関係の変遷と社会の特質。		【関】戦争の特質と平和の意義について考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】世界恐慌と資本主義の変容、20世紀前半の国際政治の流れ、第二次世界大戦の原因や性格、平和の意義について理解し、その知識を身につけている。

	2	2章　冷戦から地球社会へ 1節　冷たい戦争の時代	第二次世界大戦後の米ソ対立、アジア・アフリカの民族運動と独立を理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立。アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立。核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題。	6	【関】大戦後の世界動向について関心を高め、意欲的に追究し考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 【思】考察し判断した過程や結果について適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、平和共存と多極化の進展などを通して、1970年頃までの世界の大きな動向について理解しその知識を身につけている。
		2節　冷戦終結への道のり	米ソ冷戦の終結などから、世界が大きく変容し、今日に至っていることを理解する。	米ソ冷戦の終結。世界の変容。		【関】1970年代以降世界の大きな変容に対する関心を高め、意欲的に追究し考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 【思】考察し判断した過程や結果について適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】市場経済の世界化、米冷戦の終結などから、1970年代以降の世界の大きな変容について理解し、その知識を身につけている。
	3	3節　地球社会への歩み	日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向を模索し、これからの国際社会における日本の役割について考察する。	冷戦終結後の世界の政治・経済の動向。これからの国際社会における日本。	6	【関】これからの国際社会における日本の役割、共存する方向について考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 【思】考察し判断した過程や結果について適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】冷戦終結後の世界の政治・経済の動向、これからの国際社会における日本の役割、日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について理解し、その知識を身につけている。

教科名	数学	科目名	数学A	単位数	3単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学(体育)	履修形態	必修

科目の目標	場合の数と確率及び図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
学習内容の概要	《場合の数と確率》 具体的な事象の考察などを通して、順列・組合せや確率について理解し、不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようにする。《図形の性質》 三角形や円などの基本的な図形の性質についての理解を深め、図形の見方を豊かにするとともに、図形の性質を論理的に考察し処理できるようにする。《整数の性質》 整数の基本的性質について学び、ユークリッドの互除法やn進法などのアルゴリズムを理解できるようにする。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	A: 数学への関心・意欲・態度	B: 数学的な見方や考え方	C: 数学的な表現・処理	D: 数量・図形などについての知識・理解
	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。

教科書、教材など	改訂版 新 高校の数学A(数研出版) 補助教材:ポイントノート数学A(数研出版)
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4	第1章 場合の数と確率	場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	第1節 順列・組合せ 1 集合	9	A/B/C/Dの総合評価
	5			2 集合の要素の個数 3 和の法則・積の法則	9	
	6			4 順列 5 組合せ	12	
	7			第2節 確率 1 事象と確率 2 確率の計算	12	
2	8			3 独立な試行と確率 4 条件付き確率	3	
	9				12	

2	10 11 12	第2章 図形の性質	角の二等分線と辺の比の関係、重心・内心・外心等を扱い、これらの図形の性質を図形の考察に活用する。 内接四角形に関する性質や、円の接線と弦の作る角の性質、方べきの定理や二つの円の位置関係などを扱い、これらの図形の性質を図形の考察に活用できるようにする。 基本的な図形の性質などをいろいろな図形の作図に活用できるようにする。	第1節　平面図形 1 図形の基本 2 角の二等分線と線分の比 3 三角形の外心、内心、重心 4 円周角の定理 5 円に内接する四角形 6 円の接線 7 方べきの定理 8 2つの円	12 12 12	
3	1 2 3	第3章 整数の性質	中学校までに扱ってきた整数に関する約数や倍数などの基本的な用語や事項をまとめ、約数や倍数に関する事象を論理的に考察し、整数の性質についての理解を深める。	9 作図 第2節　空間図形 1 空間の直線、平面 2 正多面体 1 約数と倍数 2 ユークリッドの互除法 3 方程式を満たす整数 4 2進数 5 分数と小数	6 9 9	

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース(体育クラス)	履修形態	必修

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
学習内容の概要	中学校理科との関連を考慮しながら、生物学の基本的な概念の形成を図るとともに、生物学的に探求する方法の習得を通して、科学的な思考力、判断力及び表現力を育成する。内容は代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 観察・実験の技能	D 知識・理解
	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心をもち、自然現象に対して探求していく態度を身につけている。	生物や生物現象を通して、自然現象の中に問題を見いだし、科学的に考察した考えを表現できている。	生物や生物現象について、目的意識をもって観察・実験を行い、生物学的に探求する能力と技術を身につけている。	生物学の基本的な概念や原理・概念を理解し、科学的な知識や見方を身につけている。

教科書、教材など	教科書:高等学校改訂新生物基礎(第一学習社)
授業形態	講義形式の授業を主体とし、必要に応じて観察・実験および問題演習を行う。

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1学期	4 5	生物の特徴	生物は多様であるが、細胞構造などの共通性や、共通の起源を学習する。また、酵素のはたらき、光合成と呼吸の学習を通して生物の代謝とエネルギーの取り出しについて理解する。	生物の多様性と共通 エネルギー代謝 光合成と呼吸	6 6	・生物のもつ特徴としての多様性と共通性、代謝、生物のエネルギーを扱うミトコンドリアと葉緑体について興味関心をもつ。 A ・生物のもつ共通性と多様性が進化に基づくこと、酵素の働きと反応の調節の関係、生命活動にとってエネルギーとはどのようなものかを理解している。 B ・原核生物と真核生物、カタラーゼによる過酸化水素の分解、葉緑体の観察を行う。 C ・細胞構造の生物の共通性、生命活動の中で酵素やATPがどのような役割を担っているのか、呼吸と光合成の内容を理解する。 D

	6 7	遺伝子とその働き	DNAの構造、遺伝情報は塩基配列であることを理解し、タンパク質合成について学習する。また、遺伝子の複製と発現について学習する。	遺伝情報とDNA 遺伝情報の発現 遺伝情報の分配	8 8	・遺伝子はDNAであること、転写と翻訳の過程、遺伝情報の分配について興味関心をもつ。 ・塩基配列に遺伝情報があるということ、タンパク質とDNAの関係、遺伝情報の発現と細胞の分化の関係を考察する。 ・試料からDNAを抽出する方法、だ腺染色体の染色方法、細胞周期の各時期の時間の推定方法を学ぶ。 ・DNAの構造、アミノ酸の配列によるタンパク質の決定、DNAの分配を理解する。	A B C D
2学期	8 9 10	生物の体内環境と恒常性	恒常性のしくみについて理解し、循環系、肝臓と腎臓、自律神経系、内分泌系、免疫について学習する。	体液という体内環境 腎臓と肝臓 神経とホルモンによる調節	2 8 8	・体内環境、自律神経系とホルモンによる調節作用、生体防御のしくみについて探求しようとする。 ・体液とはたらき、腎臓と肝臓の機能、自律神経とホルモンが協同で作用する調節のしくみ、自然免疫と獲得免疫について説明できる。 ・腎臓の構造、運動による心拍の変化、赤血球の正確な細胞像を観察できる。 ・内部環境とその恒常性の維持について、尿生成の重要性、血糖濃度や体温についての恒常性のしくみ、自然免疫と獲得免疫の機構を理解する。	A B C D
	11 12	植生の多様性と生態系	植生について、構造や遷移のしくみを理解する。また、世界と日本のバイオームと気温と降水量の関係を学習する。	さまざまな植生 植生の遷移 気候とバイオーム	8 8	・森林では階層構造を形成すること、植生遷移について、植生と環境のかかわりについて興味関心をもつ。 ・植生の特徴をとらえることができるか、植物どうしの資源をめぐる競争、バイオームの分布について考察する。 ・土壌にどのような種子が存在するか、照葉樹と夏緑樹の違いがわかる。	A B C

						・遷移が起きるしくみ、バイオームが気温と降水量の違いに起因する、身近な植生を理解する。	D
3学期	1 2 3	生態系とその保全	生態系の成り立ち、物質とエネルギーの循環について理解する。その上で、生態系と環境問題について学習する。	生態系 物質循環とエネルギーの流れ 生態系のバランス 人間活動と生態系の保全	4 6 6	・生態系とは何か、生態系での物質やエネルギーの移動、生態系におけるバランス、生態系における人間生活の影響について興味関心をもつ。	A
						・作用と環境形成作用や相互作用がどのようなものであるのか、生態系のエネルギー移動、生態系のバランスが保たれるしくみ、そのバランスが人類の活動でどのように変化しつつあるのかを理解できているか。	B
						・土壌動物であるミミズのはたらき、イオン濃度を適切に調べられるか、身近な外来生物をインターネットで調べることができる。	C
						・生態系を1つのまとまりとして捉えることができるか、窒素循環や窒素固定などについての理解、生態系のバランス、これまでの学習を通じて得た知識を活用して、環境問題について保全の方法を具体的に考えることができる。	D

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース 体育クラス	履修形態	必修

科目の目標	発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、技術の名称や行い方、運動にかかわる一般原則や運動に伴う事故の防止等などを科学的に理解した上で合理的に運動を実践するとともに、計画を立て、実践し、課題解決策を考える力を身に付ける。
学習内容の概要	体づくり運動、体ほぐし、体力を高める運動、各種目における基本技能の習得、各種目のルール等の知識習得、生徒の自主性によるゲーム運営と安全への意識の向上。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように、自ら進んで計画的に運動しようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行い方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方理解し、知識を身につけているか。

教科書、教材など	特になし
授業形態	実技・男女別合併授業

年間行事計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4	オリエンテーション	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようにする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	6	授業中の行動の観察
		体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方。	スポーツ技能の上達過程、安全について学習。	9	授業中の行動の観察 評価テスト（総時数6時間）
	5	体つくり運動	体つくり運動の特性を理解し、体をほぐしたり体力を高めたりする。	城北体操の習得。		授業中の行動の観察 実技テスト
		新体力テスト	自己の体力と運動能力を把握する。	正しい測定を行い、自己の能力診断をする。昨年との比較し、分析を行う。		診断テスト結果
	6	陸上競技	自己の能力に応じて運動の技能を高め、競技したり記録を高める。	各種目の基本技能の習得。	12	授業中の行動の観察 実技テスト
	7	バレーボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームが出来るようにする。	仲間と協力してゲームを展開し、課題を見つけて改善する。	9	授業中の行動の観察 実技テスト
2	8	ソフトボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームが出来るようにする。	仲間と協力してゲームを展開し、課題を見つけて改善する。	3	授業中の行動の観察
	9	サッカー			12	実技テスト
	10	バスケットボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームが出来るようにする。	仲間と協力してゲームを展開し、課題を見つけて改善する。	12	授業中の行動の観察
	11	バドミントン			12	実技テスト
	12				12	
3	1				6	
	2	ダンス	感情をこめて踊ったり、仲間と楽しく踊ったりして発表できるようにする	ダンスの特性を理解し、基本動作やリズム感を養う。	9	授業中の行動の観察 実技テスト
	3				9	授業中の行動の観察 作品の評価 ※年間を通して出席状況

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース・体育クラス	履修形態	必修

科目の目標	個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
学習内容の概要	②生涯を通じる健康 生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること、およびわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。

科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	健康に対する関心を持ち、健康を保持増進させるためには何が必要かを考え、実行できる態度が身についている。また、日々変化する健康問題について関心を持ち、自他の健康について考える意欲をもつ。	健康についての思考を深め、その日常での活用方法を適切に判断し、健康行動の適切な選択ができる。	保健の授業を通して、必要な基本的技能を習得し、実際の場面で適切な行動がとれるようになる。	保健に関する基礎的な知識や、ヘルスプロモーションの理念を理解できる。また、保健に関するさまざまな分野における知識を身につけ、その役割について理解できる。

教科書、教材など	教科書:最新保健体育(大修館書店)、最新保健ノート(大修館書店)
授業形態	教室での一斉授業、グループ学習、ビデオ学習

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4	単元2 生涯を通じる健康 ①思春期と健康	思春期における体の変化と心の発達にかかわる健康課題を理解する。	性ホルモン、生殖器の発達 精神的な不安定	3	
		②性への関心・欲求と性行動	性意識の男女差，性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを理解する。	セクシュアルハラスメント 性情報と性行動		
	5	③妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程における健康課題を理解する。	母子健康手帳 母子保健サービス	3	
	6	④避妊法と人工妊娠中絶	家族計画の意義と適切な避妊法を理解し、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響を理解する。	家族計画 人工妊娠中絶	4	
	7	⑤結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係について理解する。	性機能の成熟 精神面での発達 健康状態の把握	4	
2	8 9	⑥中高年期と健康	中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みを理解する。	健康診断 生きがい ノーマライゼーション	1 4	定期考査 ノートチェック 授業への取り組み A,B,C,Dで評価する
		⑦医薬品とその活用	医薬品の正しい使用法について理解する。	医療用医薬品 自然治癒力 お薬手帳		

	10	⑧医療サービスとその活用	医療サービスをうける時の留意点を理解する。	医療保険 インフォームド・コンセントとセカンドオピニオン	4	
		⑨保健サービスとその活用	保健行政の役割について理解する。	保健行政 保健サービス 健康相談		
	11	⑩さまざまな保健活動や対策	民間や国際機関などの保健活動や対策について理解する。	日本赤十字社の取組み WHOの取組み ヘルスプロモーション	4	
		単元3 社会生活と健康 ①大気汚染と健康	大気汚染の原因とその健康影響を理解する。	大気汚染物質 ダイオキシン 地球温暖化		定期考査 ノートチェック 授業への取り組み A,B,C,Dで評価する
	12	②水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を理解する。	重金属 有機物 富栄養化	4	
		③環境汚染を防ぐ取り組み	今日の環境汚染の特徴を理解する。	排出基準 環境基本法 産業廃棄物 環境負荷		
3	1	④ごみの処理と上下水道の整備	ゴミの処理の現状や、その課題について理解する。	環境型社会	2	
	2	⑤食品の安全を守る活動	食品の安全のため、消費者が行うべきことを理解する。	食品添加物 食品衛生監視委員 食中毒予防三原則	3	
		⑥働くことと健康	働く人の健康問題と労働災害の防ぎ方について理解する。	働き方の変化とストレス 労働災害 作業環境 健康管理		
	3	⑦働く人の健康づくり	職場がおこなう健康増進対策と、余暇の大切さとその活用の仕方について理解する。	メンタルヘルスケア ワークライフバランス 余暇の確保	3	定期考査 ノートチェック 授業への取り組み A,B,C,Dで評価する

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ	単位数	1単位
対象学年	第 2 学年	対象コース	スポーツ科学コース	履修形態	選択必修

科目の目標	・音楽に対する興味・関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む態度を身に付ける。 ・音楽的感性・技能を身に付け、音楽の生み出す曲想やリズムなどの美しさを感じ取りながら表現する能力を養う。
学習内容の概要	・音楽理論の基礎～音楽を学習する上での最も基礎的な音楽上の決り事について学習する。 ・実技～アルトリコーダーを使用し、独奏曲や二重奏曲をグループ学習で学ぶ。 ・鑑賞～バロック時代からの作曲家の紹介と、その作品を鑑賞する。 また、音楽に関わりの深い映画を鑑賞する。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	意欲・関心・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
	音楽を愛好し、音や音楽に関心をもち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り創造的な音楽活動の工夫をする。	自己のイメージをもち創造的な表現をするための技能を身に付けている。	多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。

教科書、教材など	MOUSA1（教育芸術社） アルトリコーダー
授業形態	講義、実技、鑑賞

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4 5	オリエンテーション アルトリコーダー実技	B♭ C♯の運指を覚える。	二重奏「小さな木の実」	3 3	正確な運指と曲に合った表現がで演奏することができたか。
	6 7	音楽の歴史と鑑賞	古典派の作曲家とその音楽を理解する。 映画により、モーツアルトについて深く知る。	ハイドン モーツァルト ベートーヴェン 「アマデウス」	4 4	作曲家の生い立ちや時代背景を理解し、作品を味わうことができたか。 モーツアルトについてより深く知ることができたか。
2	8 9	アルトリコーダー実技	読譜能力を高める。 レガート奏法を身につける。	二重奏「魔弾の射手」 二重奏「愛の喜び」	1 4	正確な運指と曲に合った表現がで演奏することができたか。
	10 11	音楽の歴史と鑑賞	ロマン派の作曲家とその音楽を理解する。	シューベルト メンデルスゾーン J.シュトラウス ショパン	4 4	作曲家の生い立ちや時代背景を理解し、作品を味わうことができたか。
	12	鑑賞	映画と映画中の音楽を味わう。	「陽のあたる教室」	4	映画と映画中の音楽を味わうことができたか。
3	1 2 3	アルトリコーダー実技 鑑賞	F♯ D♯の運指を覚える。 ロマン派の作曲家とその音楽を理解する。	二重奏「少年時代」 ドボルザーク スメタナ	2 3 3	正確な運指と曲に合った表現がで演奏することができたか。 作曲家の生い立ちや時代背景を理解し、作品を味わうことができたか。

教科名	芸術	科目名	美術Ⅰ	単位数	1単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース	履修形態	選択必修

科目の目標	美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、描写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、美術の伝統と文化についての理解を深める。
学習内容の概要	・サンドアート制作…砂を使った絵画技法を学び作画を行う。 ・水墨画…墨についての学習を通し様々な表現法を身に付け、創作活動に生かす。 名画や完成作品の鑑賞、批評会などの言語活動も適宜行う。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	意欲・関心・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
	美の創造的活動の喜びを味わい、美の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	墨、色砂のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な色彩表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の美術の効用や美の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、美のよさや美しさを創造的に味わっている。

教科書、教材など	高校生の美術Ⅰ（日本文教出版） スケッチブック、書道セット、サンドアートセット、和紙
授業形態	講義、実技、鑑賞

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4 5 6 7	オリエンテーション 水墨画の世界①	前年の学習を振り返るとともに、美の芸術的要素を理解し表現する。 墨の技法について理解し、その特性を生かして作品に取り組む。	「墨を知ろう」 「食べ物を描こう」 「人物を描こう」	3 3 4 4	墨の特性を踏まえ、水墨画の芸術的要素を理解し、個性を活かした表現が出来たか。 墨の明暗を美しく表現し、濃淡の用法を身に付け、表現することが出来たか。
2	8 9 10 11 12	水墨画の世界② 砂絵、サンドアートの世界①	有名画家の技法を学習し、その技法を異なった画材で行い作品に取り組む。 サンドアートの作品や表現の多様性を理解し、用法を身に付け、表現する。	「北斎漫画とは」 映像学習 「北斎になろう」 「色砂に親しもう」 「練習用作品を作ろう」	1 4 4 4 4	映像の中から、その作者の技法を学び、表現することができたか。 砂絵の内容を踏まえ、砂の芸術的要素を理解し、個性を活かした表現が出来たか。また、練習作品の制作で、技法を身に着けることができたか。
3	1 2 3	砂絵、サンドアートの世界①	学習した技法を生かし、意図に応じた個性的な表現の工夫をする。	「オリジナル作品を描こう」	2 3 3	グラデーション、混色など、様々な技法を使い表現が出来たか。

教科名	芸術	科目名	書道Ⅰ	単位数	1単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース	履修形態	選択必修

科目の目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
学習内容の概要	・漢字仮名交じりの書…高校での古典臨書を生かし、感興や意図に応じた題材(書く言葉)の設定や創造的な作品制作を行う。 ・漢字の書…中国及び日本の名筆（古典作品）の臨書学習を通し様々な表現法や用筆法を身に付け、創作活動に生かす。 ・仮名の書…日本の重要文化である仮名の発生と展開を理解し、また臨書学習を通し様々な表現法や用筆法を身に付け、創作活動 に生かす。 古典や完成作品の鑑賞、批評会などの言語活動も適宜行う。

	意欲・関心・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

教科書、教材など	書Ⅰ（教育図書） 鳥取城北高校選定筆、固形墨、半紙
授業形態	講義、実技、鑑賞

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4 5 6	漢字の書の学習① 【楷書の古典に学ぶ】	書の歴史や作者の人物像、表現の多様性を理解し、楷書の用筆法を身に付け、表現する。	【古典臨書】 ①顔氏家廟碑 ②鄭羲下碑 ③牛橛造像記 【創作】 古典を基にした一字創作	3 3 4	古典に関わる様々な背景を理解するとともに、唐代、北魏時代の楷書の用筆法を身に付け、表現することが出来たか。
	7	漢字の書の学習② 【行書の古典に学ぶ】	書の歴史や作者の人物像、表現の多様性を理解し、行書の用筆法を身に付け、表現する。	【古典臨書】 ①争坐位文稿	4	古典に関わる様々な背景を理解するとともに、行草書の用筆法を身に付け、表現することが出来たか。
2	8 9 10	漢字仮名交じりの書②	・学習した古典の用筆法に基づいた表現を行う。 ・感興や意図に基づく個性的な表現の工夫を行う。	「自作の高校生短歌を書こう」	1 4 4	短歌制作に意欲的に取り組み、表現においては古典を基にした、感興や意図に応じた表現の工夫ができたか。
	11 12	漢字の書の学習③ 【篆書・隷書の古典に学ぶ】 創作活動	書の歴史や作者の人物像、表現の多様性を理解し、篆・隷書の用筆法を身に付け、表現する。	【古典臨書】 ①甲骨文②泰山刻石 ③曹全碑 書道カレンダーを作ろう	4 4	古典に関わる様々な背景を理解するとともに、篆書、隷書の用筆法を身に付け、表現することが出来たか。 題材の選定に工夫を凝らし、言葉の内容に沿った自分なりの表現が出来たか。
3	1 2 3	仮名の書の学習	・仮名の歴史や諸要素を理解する。 ・仮名の用筆法を身に付け、表現する。	基本点画練習 【古筆臨書】 ①高野切第3種 ②寸松庵色紙 【創作】 古筆を基にした半紙創作	2 3 3	日本独自の伝統文化であるかなの歴史や古典の背景を理解するとともに、仮名の基本的な用筆法を身に付け、表現することが出来たか。

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3 単位
対象学年	第 2 学年	対象コース	スポーツ科学コース（体育）	履修形態	必修

科目の目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報 や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。 ① 英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。 ② 英語を通じて，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすこと。
学習内容の概要	(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使 用場面を設定して，次のような言語活動を英語で行う。 ア 事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要 や要点をとらえたりする。 イ 説明，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み 方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについ て，話し合うなどして結論をまとめる。 エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについ て，まとまりのある文章を書く。 (2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために，次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読ん だり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりする こと。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	A:コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B:外国語表現の能力	C:外国語理解の能力	D:言語や文化についての知識・理解
	コミュニケーションに関心をもち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろ	英語で話したり書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに，言語の背景にある文化などを理解してい

教科書，教材など	Revised COMET ENGLISH Communication Ⅱ
授業形態	講義・演習（学級単位による授業）

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4 5	Lesson1 Staying in Space	・宇宙での暮らしと地上との違いを知る。	that-節 相手の発言を確かめる表現 Are you sure?	9 9	A,C,D
	6 7	Lesson2 *Doraemon* in the U.S.	・アメリカに渡った日本の人気アニメ『ドラえもん』日米での内容の違いを知る。	wantなど＋（人）＋to不定詞 相手の情報・意見を聞く表現 How about you?	12 12	A,B,C,D
2	8 9	Lesson3 Farm in the Sky	・シンガポールの新しい農法から未来の農業の可能性を考察する。	疑問詞＋to-不定詞 言い直す表現 I mean～	3 12	A,B,C

	10	Lesson4 Goal Setting	・「目標倒れ」にならないための効果的な目標設定術を紹介	分詞構文(同時・時・理由) 相手をほめる表現 You did it!	12	B,C,D
	11	Lesson5 The High School Student	・高校生が運営するレストラン「まごの店」で働く生徒の日記から	形式主語 It 望みや気持ちを表す表現 feel like ～ing	12	A,B,C
	12	Reading 1 The Swing What are heavy?	英語の詩3編を鑑賞する		12	A,B
3	1	Lesson6 Why Is It That Shape?	・5円硬貨，観覧車・・・身近なモノの形にある理由を知る。	関係代名詞 what 理由を述べる表現 This is because ～	6	B,C,D
	2	Lesson7			9	
	3	Fuji, a Dolphin With a New Fin	・尾びれを失い泳げなくなったイルカ，フジが人工尾びれで泳ぎを取り戻せるまで	過去完了形 (大過去・継続・完了・経験) 感情を尋ねる表現 How was ～?	9	B,C,D

教科名	外国語	科目名	英語会話	単位数	1 単位
対象学年	第 2 学年	対象コース	スポーツ科学コース(体育)	履修形態	必修

科目の目標	The objective of this subject is to exercise the students English listening & speaking skills.
学習内容の概要	The students will be introduced 6 topic/theme based lessons. Each lesson will introduce a different set of target vocabulary & grammar which the students will use in listening, speaking, writing & reading exercises in class.

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	A: Vocabulary/Grammar	B: Listening skills	C: Speaking skills	D: Presentation skills
	Vocabulary and grammar will be assessed when writing presentation scripts.	Listening comprehension will be assessed during presentations & listening tests.	Pronunciation, intonation, rhythym & fluency will be assessed during presentations.	Presentation skills to enhance oral presenations will be assessed during presentations.

教科書、教材など	Atlantis English Conversation
授業形態	Students will work in small groups

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4 5	Lesson 7 – How was your vacation	Asking & answering:"How was/were/did" questions	All lessons will en-compase the following;	3 3	All lessons require students to make an oral presentation which will be assessed on a number of criteria
	6 7	Lesson 8 – I used to live in America	Understanding & using "How long …" questions	1. Looking up the meaning of the target vocab	4 4	
2	8 9	Lesson 9 – What were you doing on …	Questioning in past progressive tense	2. Understanding and practising the target grammar points	1 4	
	10 11	Lesson 10 – Who is the funniest person ..	Describing using different types of adjectives	3. Use the vocab & grammar to write a monolouge/dialouge script	4 4	
3	12 1	Lesson 11 – How long have you …	Questioning in perfect present tense	4. Use the script to practise speaking skills	4 2	
	2 3	Lesson 12 – I wish I were rich	Stating a wish or belief		3 3	

教科名	国語	科目名	国語表現	単位数	2 単位
対象学年	第 2 学年	対象コース	スポーツ科学コース(体育)	履修形態	必修

科目の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
学習内容の概要	・自己の考えを明確にして論理的に述べたり、相手の考えを尊重して話し合ったりすること。 ・相手や目的に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して話をしたり文章を書いたりすること。 ・記録、収集、整理した内容を、正確に伝える文章にまとめること。 ・さまざまな表現について理解を深め、自分の表現に役立てること。 ・表現を「人間の根源的な生きる行為」と位置づけ、総合的な表現能力を磨くこと。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合おうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。

教科書、教材など	大修館書店『国語表現　改訂版』 『改訂版漢字とことば常用漢字ワイドアルファ漢字検定7級～2級』(桐原書店)
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4	1 書いて伝える	・主述の関係、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。	整った文を書く	6	書く能力、知識・理解で評価
			・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	わかりやすい文を書く		書く能力、知識・理解で評価
			・接続表現の種類と働きの理解や、文脈による文のつながりを理解する。	文のつなぎ方		書く能力、知識・理解で評価
			・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。	絵や写真を見て書く		書く能力、知識・理解で評価
			・相手に伝えることを意識し分かり易い文章を書く。	実践トレーニング		意欲・知識・理解で評価 読む能力、書く能力で評価
		2 小論文・レポート入門	・小論文の基本的な書き方を理解し、意見を筋道を立てて書く。また、原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	表現の扉 1 小論文とは何か		書く能力、知識・理解で評価

			・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。	反論を想定して書く		書く能力、知識・理解で評価
	5		・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	文章を読み取って書く	6	書く能力、読む能力・知識・理解で評価
			・資料から読み取った事をふまえ、意見を明確にして小論文を書く。	統計資料を読み取って書く		書く能力、知識・理解で評価
			・発想を広げるための方法を理解し、活用して小論文を書く。	発想を広げて書く		関心・意欲・書く能力で評価
	6		・基本的な書き方を理解し、客観的な根拠を集めて、レポートをまとめる。	レポートを書く	8	関心・意欲・書く能力で評価
			・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。	論文を書くために		関心・意欲・書く能力で評価
			・引用方法、参考文献や注の示し方を理解する。			
		3 自己PRと面接	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。	自分を見つめて		関心・意欲・態度で評価
			・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作り、自己PRをする	効果的な自己PR		関心・意欲・態度で評価
	7		・調べたことをふまえ、「将来の自分」について文章にまとめる。	将来の自分を考えて	8	話す・聞く・書く能力で評価
			情報を集め、調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	志望動機をまとめよう		関心・意欲・書く能力で評価
			・適切な言葉遣いや態度、具体的で説得力のある面接の受答えをする。	面接にチャレンジ		話す・書く能力で評価
			・表記や係り受けなど、文を書く上での基礎が押さえられているか確認する。	実践トレーニング 2		話す・聞く・書く能力で評価
	8	4 メディアを駆使する	・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	通信文を書き分ける	2	書く能力・知識・理解で評価
			・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。	電話を使いこなす		話す・聞く能力・知識・理解で評
2	9		・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。	ネット社会とコミュニケーション	8	書く能力・知識・理解で評価
			・メディアの情報の伝え方を理解する。	メディアと情報		知識・理解で評価
		5 声のコミュニケーション	・コミュニケーションの楽しさを感じる。	言葉のストレッチ体操		話す・聞く能力で評価
			・文章の内容に応じてふさわしい声の使い方を工夫し、朗読する。	リーダーズシアターを開こう		関心・意欲・態度・話す・聞く能力で評価
			・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	ショートスピーチをしよう		話す・聞く能力で評価

	10	6 会話・議論・発表	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	相手や場面に応じた会話	8	話す能力・知識・理解で評価
			・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。	建設的な議論の進め方		関心・意欲・態度・話す能力で評価
	11	第2部	・言葉遊びの仕組みやおもしろさを理解し、オリジナル作品を作る。	言葉で遊ぶ	8	書く能力・知識・理解で評価
			・詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。	詩歌を楽しむ		書く・読む能力で評価
			・イベントなどの効果的なコピーを考える。	魅力的なポスターを作ろう		関心・意欲・書く・読む能力で評価
	12		・情報を適切に編集し、効果的なパンフレットを作る。	「わが町自慢」のパンフレット作り	8	関心・意欲・書く・読む能力で評価
			・質問内容を吟味してインタビューをし、相手の話の大切な点を落とさずに聞き取る。	働く人にインタビュー		話す・聞く・書く能力で評価
			・自分たちが普段使っている言葉を見つめ直し、言語感覚を豊かにする。	みんなで作ろう国語辞典		関心・意欲・書く能力で評価
3	1		・効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。	エッセイを書こう	4	書く・読む能力で評価
	2		・賛成か反対かを明確にし、聞き手を説得できるように、筋道を立てて話す。 ・意見の根拠に注意し、説得力があるかどうかを考えながら聞く。	演説合戦にチャレンジ	6	関心・意欲・知識・理解・話す・聞く能力
	3		・模擬裁判において、根拠をふまえて自分の意見を述べたり、議論を重ねて結論を導いたりする。	開廷！模擬裁判	6	話す・聞く・読む能力・知識・理解で評価

教科名	保健体育	科目名	スポーツ概論	単位数	1 単位
対象学年	第 2 学年	対象コース	スポーツ科学コース体育クラス	履修形態	必修

科目の目標	個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。また、体育・スポーツに関する幅広い知識と専門性を身につけさせ、将来のスポーツ指導者として体育・スポーツの発展に寄与できる人材を育成する。
学習内容の概要	変化する現代社会における体育・スポーツの意義や必要性を理解するとともに、体育・スポーツにはそれぞれ歴史・文化的に形成された意義、独自の技術、戦術及び規則があることを理解できるようにする。また、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎作りをしっかり学ばせる。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技能・表現	④知識・理解
	・運動やスポーツが多様であることについて（情報を集めたり、意見交換したりするなど）の活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。 ・授業の出席状況が良好である。	・運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。 ・運動の安全性について課題解説の方法を考え、その選択すべき行動を適切に判断している。	・自己の能力と運動の特性に応じた課題尾の解決を目指して、運動を行い技能を高めているか。 ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けているか。	・運動やスポーツの必要性と楽しさについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動やスポーツへの多様なかかわり方について、言ったり書き出したりしている。 ・運動やスポーツの安全性・学び方について、言ったり書き出したりしている。

教科書、教材など	教科書：基礎から学ぶ　スポーツ概論（大修館書店）
授業形態	講義・演習（学級単位による授業）

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4	第1章 スポーツについて考えよう	1スポーツの魅力について考えよう	①競技スポーツの魅力を知る	3	競技スポーツを通じて、卓越・達成・身体の喜びを理解する。
	5			②生涯スポーツの魅力を知る ③スポーツの楽しみ方を知る	3	近年の社会状況を踏まえた生涯スポーツの必要性について理解する。
	6		2スポーツのこれからとこれまでを考えよう	①スポーツの起源 ②スポーツの変容と発展 ③これからのスポーツ	4	スポーツの始まりについて理解する。 中世のスポーツ・近代スポーツの誕生と発展・国際スポーツの登場と民族スポーツの発見について理解する。
	7		3現代スポーツの問題点を考えよう	①競技スポーツの問題点 ②生涯スポーツの問題点 ③スポーツの持続的発展と環境問題	4	スポーツの商品化について理解する。 ドーピングについて理解する。 コミュニティスポーツの形骸化について理解する。 スポーツと環境問題の関連を理解する。
2	8		4スポーツと社会について考えよう	①スポーツとグローバリゼーション	1	グローバリゼーションについて理解する。 スポーツに関わるグローバルな課題について理解する。

	9			②スポーツと振興政策	4	日本のスポーツ振興の歩みについて理解する。 21世紀のスポーツ振興政策について理解する。
				③スポーツと経済		現代社会におけるスポーツビジネスについて理解する。
	10	第2章 スポーツの競技力を向上させよう	1競技力向上に必要な基礎知識を知ろう	①競技力を構成する諸要素の関係 ②合理的なトレーニング計画	4	技術・戦術・技能・戦術能・体力の関係を理解する。 計画作りに際して気をつけるべきことを理解する。
	11		2競技力を向上させる練習方法・計画を知ろう	①サッカー ②バスケットボール ③バレーボール	4	各種目の特性を理解する。
	12			④テニス ⑤陸上競技 ⑥水泳競技	4	
3	1			⑦体操競技	2	
			3メンタルトレーニングについて知ろう	①競技力と精神力(メンタル)の関係		実力発揮に及ぼす興奮の影響について理解する。
	2			②実力発揮のメンタルトレーニングの実際	3	トレーニング効果・方法を理解する。
			4競技力向上に向けた指導体制や情報戦略について知ろう	①競技力向上に向けた指導体制		具体的な方法について理解する。 都道府県の実態について理解する。
	3			②競技力向上に向けた情報戦略	3	情報戦略とは何か理解する。 情報戦略の活動について理解する。 情報戦略で取り扱う情報の分類について理解する。

教科名	体育	科目名	スポーツⅡ	単位数	1単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース 体育クラス	履修形態	必修
科目の目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子をととのえ、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通して継続的に運動することができる資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	自己の能力に適した課題を持って基本動作をおこない、技能を高めたり記録を高めたりすることができるようにする。また、教科の特性を的確にとらえ、ルール等を正確に理解するとともに、チームの和の大切さを育みながら、それぞれの種目において協調性を持って取り組むようにする。				

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
	各時の取り組みにおいて、向上心を持って自らが積極的に参加、活動しているかどうか。	各時の取り組みにおいて、おかれている状況を理解し、その場に応じた取り組みができているかどうか。	各時の取り組みにおいて、技術の向上に努力した結果、その技能に向上が見られるかどうか。	各時の取り組みにおいて、それぞれの特性について理解し、ルール面においても正しく理解した上で実践できているかどうか。

教科書、教材など	特になし
授業形態	実技・学級単位（男女混合授業）

年間行事計画

学期	月	項目	学習内容	時間	学習のポイント・評価等
1	4	オリエンテーション	目標や年間計画を知り、授業の進め方を理解する。	3	受講態度の観察
		集団行動	指示に従い集団での規則正しい行動ができるようにする。		受講態度の観察 リーダーシップと協調性の確立
	5	新体力テスト	正しい測定方法を知り、正確な測定をする。自己の体力向上に意欲を持ち取り組む。	3	受講態度の観察 テスト結果
		【実施種目】			
	6	バスケットボール バレーボール	授業に際しては、体育委員が教員と連携をとり、場所の確認等をおこなう。各種目の実施においては、それに応じた十分な体ほぐしを行ってから実施する。	4	各種実技テスト 受講態度の観察
	7	ソフトボール		4	欠席見学状況
		集団行動（体育祭に向けて）			4 月に確認した集団行動の基礎をさらに発展させて、「見せる演技」の完成に向けて取り組む。
2	8	【実施種目】	※実施種目について 『バスケットボール・バレーボール』 基本技術を身につけ、その発展がゲームにつながる事を理解させる。 チームプレーや審判法の理解。 『サッカー・フットサル』 基本技術を身につけ、ゲームにおいては攻守の切り替えをスピーディーにおこなうとともに、チームプレー並びに審判法を学ぶ。 『ソフトボール』 基本技術を身につけ、その発展がゲームにつながる事を理解させる。 チームプレーや審判法の理解。 『バドミントン』 基本技術を身につけ、ラリーを楽しむ事からはじめ、対戦できる技術につなげる。ルールの理解。	1	実施種目全てを通して、体力や技術のレベルアップはもちろん、その場面に応じた適切な状況判断や、周囲との協調性を育めるか、ルールや決まりに対する規範意識があるかなど、総合的に観察をおこなう。
	9	サッカー バスケットボール		4	
	10	バレーボール		4	
	11	バドミントン		4	
	12	フットサル		4	
3	1			2	
	2			3	
	3			3	

教科名	保健体育	科目名	基礎体力	単位数	3単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース 体育クラス	履修形態	必修

科目の目標	心と身体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
学習内容の概要	スポーツに限らず、神経・筋肉・関節へのストレスの除去、老廃物の除去等、身体に有益な状態を作りだす初動負荷トレーニングの理論・トレーニング方法を習得し、神経と筋肉の合理的な協調性(神経筋協応能)を高める。また、トレーニングにより「弛緩→伸張→短縮」の一連のサイクルを促進させ、パフォーマンスの向上を図る。人体解剖学などにより身体の仕組みを理解する。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	思考判断	運動の技能	知識・理解
	初動負荷理論に関心を持ち、競技力の向上には何が必要かを考え実行できる態度が身についている。	初動負荷理論についての思考を深め、日常生活での活用方法を適切に判断できるようになる。	基礎体力の授業を通して必要な技能を習得し、実際の場面で成果を発揮できるようになる。	初動負荷理論に関する基礎的な知識を身につけ、その役割りについて理解できる。

教科書、教材など	特になし
授業形態	実技及び講義(学級単位による授業)

年間行事計画

学期	月	項目	学習内容	時間	学習のポイント・評価等
1	4	トレーニング	関節可動域の測定 ストレッチ(肩・股関節)	9	現時点の肩関節・股関節の可動域を認識させる。
	5	トレーニング及び 講義	ベーシック種目から、各身体状況及び競技にあわせて種目展開を行う。高校総体までは、身体のほぐしを主としたトレーニングを行う。	9	筋肉の状態がパフォーマンスに直結していることからも、大会に備えて良い身体状況を確保させる。
	6			12	
	7			12	
2	8		ベーシック8種目を主として、強化種目に展開する。講義では、解剖学より肩関節周辺筋群・肩関節周辺筋群・体幹周辺筋群の理解を深め、肩関節・股関節の連動性や関節で動作することなどを学び、神経と筋肉が一体のものであるということを理解する。	3	初動負荷トレーニングにより、神経と筋肉の合目的な協調性(神経協応能)を高め、神経・筋機能(相反神経支配・反射)や、血流及び代謝、老廃物の除去、身体の歪みの矯正、関節や筋肉及び精神的ストレスの除去などを促進させる。
	9			12	
	10			12	
	11			12	
	12			12	
3	1		ディップス・チェスト SP・ラットマシーン・プルオーバー・サイドベンド・アウター・LP・インナーサイ・インナーサイ捻り・マシンスクワットなどを組み合わせ実践する。	6	柔軟性の向上から、弾力性を向上させるトレーニングに移行させ、競技力の向上に結び付けたい。
	2			9	
	3			9	

教科名	総合	科目名	選択スポーツ	単位数	2単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学 体育クラス	履修形態	必修

科目の目標	各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
学習内容の概要	学ぶ内容を生徒自身が選択し、自分の学びたい競技に対して能動的かつ、積極的に取り組みをおこなう。実技のみにとどまらず、コンディショニングや理論も合わせながら授業をおこない、その専門性をより深く学べる機会とする。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように、自ら進んで計画的に運動しようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行い方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。

教科書、教材など	特になし
授業形態	実技（学習内容選択型授業）

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4	オリエンテーション 選択競技の選択	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようにする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	6	授業中の行動の観察 授業中の行動の観察
	5	各分野での活動	県総体に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	6	授業中の行動の観察 授業中の行動の観察
	6	各分野での活動		専門的な実技・戦術を学ぶ	8	授業中の行動の観察
	7	各分野での活動	全国大会に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	8	授業中の行動の観察
2	8				2	
	9	各分野での活動	新人戦に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	8	
	10	各分野での活動			8	授業中の行動の観察
	11	各分野での活動			8	
	12	各分野での活動	冬季トレーニング等		8	
3	1	各分野での活動			4	授業中の行動の観察
	2				6	
	3				6	

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)	履修形態	必修

科目の目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し鑑賞する能力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、更に言語感覚を磨き表現力を身につけ、自ら積極的に読書する姿勢を身につけることにより人生を豊かにする態度を育てる。
学習内容の概要	・文章の的確な読解を通して、客観的な理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。 ・文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。 ・現代社会で求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。 ・生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

教科書、教材など	教科書:精選現代文B (東京書籍) 補助教材:精選現代文B 学習課題ノート(東京書籍)、常用国語便覧(浜島書店)
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4	世界をつくり替えるために	・評論を読み、表現の特徴に注意して筆者の主張を的確に捉える。	学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	9	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	5	ミロのヴィーナス	・冒頭の文の主旨を読み取り、逆接について理解し、本文の着眼の仕方について考え、まとめる。	具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。	9	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	6	山月記	・小説を自己の問題に引き付けて味わう姿勢を養い、自己について考えを深める。	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		相手依存の自己規	・評論の文章を読み、具体例がどのように結論の根拠となっているかを学ぶ。	具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	7	見えない季節・未確認飛行物体・竹・永訣の朝	・詩の構成、展開に沿って作者の心情を深くつかむ。 ・比喩や対比の表現の特徴と効果をつかむ。	表現やリズムに留意して音読し、特色として気づいたことやその効果について考える。	12	・作品を表現に即して深く読み取り、作者の感動の焦点をおさえ、味わうことができたか。

2	8	旅する本	・登場人物の心情を表現から読み取り、その変化を的確に捉え、作品の主題を考える。	「旅する本」という表現に込められた寓意を把握し、「本」について考えを広げる。	3	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	9	科学的「発見」とは	・さまざまな物事に対する判断やものの見方、学術研究などの基本に関わる問題をつかむ。	本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		おじいさんのランプ	・情報化の進行により人間と知との関係は大きく変化していることを理解し、視点を変えることでその問題を理解する。	話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わっていく本の在り方について考える。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	10	消費されるスポーツ	・スポーツを社会学的な視野で捉え、「大衆消費社会」の姿について考える。	筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		牡丹花は(短歌) プラタナス(俳句)	・短詩形文学の感動の焦点をおさえ、主題をとらえられる。	さまざまな表現、内容を整理し、さまざまな取り合わせや表現方法を整理する。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	11	こころ	・作品を深く読んで人間のあり方についての問題意識をつかむ。	人間関係における人物の心情を的確に把握して、人の心のありようについて考えを深める。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		「である」ことと「する」こと	・明晰な論理展開を読み取り、日本の近代化の特質とその問題について考える。	例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	12	人間の運命と科学	・社会と人間のあり方を主題とする評論を読み、自己の価値観と照らし合わせて考える。	論の展開と構成を把握して主張を捉え、科学と人間の関係について考えを深める。	12	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
		蠅	・文体や修辞など表現上の特色をとらえ、作品に描かれた情景や心情を味わう。	視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、主題について考える。		・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
3	1	藤野先生	・翻訳文学の文章を読み、文体・時代性・心理などを自信と対比しながら味わう。	「私」が出会った藤野先生の人間像と「私」の思いとを、時代背景に注意し、表現に即して読み取る。	6	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	2	日本人の美意識	・日本の美意識の特質を理解し、それが生活行動や生活感覚にまで及んでいることについて考える。	図を適切に参照して本文中の対比を捉え、日本と西欧の美意識の違いを理解する。	9	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績
	3	地図の想像力	・提示された問題について考え、自分の見解や意見を持ち、それを自分の言葉で表す。	論理的文章を読んで，それに対する自分の考えを意見文に書く。	9	・授業の取り組み姿勢、応答と発問、意見発表の意欲と的確さ、課題の提出、ノートの整理、小テスト・定期考査の成績

教科名	国語	科目名	古典B	単位数	2単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)	履修形態	必修

科目の目標	古典としての古文と漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。
学習内容の概要	古文および漢文を読解し鑑賞するために、読み、語句、文法事項、表現上の特色等を理解して古典に親しみ、文章に現れた思想、感情、古典常識を通してものの見方、感じ方、考え方を豊かにし、日本文化との関係について考える。 以上の観点から指導し、共通テストに対応できる学力を身につける。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重する姿勢を持ち、進んで古典に親しもうとしている。	古典に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などについて、筋道を立てて自分の考えをまとめ、発表したり話し合ったりすることができる。	学習した古典の作品について、積極的に情報を収集・活用して進んで表現することで、自分の考えをまとめるとともに深めることができる。	文章や作品の内容を構成や展開に即して的確に捉えることができるか。また、古典に表れた思想や感情を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにすることができる。	古典の理解に役立てるための音声・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につけている。

教科書、教材など	教科書:『精選古典B改訂版』(三省堂)　補助教材:『体系古典文法』(数研出版) 『体系古典文法　準拠ノート』(数研出版)『新明説漢文』(尚文出版)　『重要古文単語315』(桐原書店)
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4 5	(古)説話 ・十訓抄 ・宇治拾遺物語 ・古今著聞集	・説話に対する理解を深め、古文に親しむ態度を育てる。	◆助動詞の復習 文法事項を踏まえながら、展開や心情を適切に読み取る。	6 6	語句や表現に即して、説話の展開を読み取ろうとしている。 助動詞の用法を理解する。
	6	(漢)小話 ・季札挂剣　漱石枕 梁上君子　病入膏 不顧後患　紀昌貫虱 畏饅頭	・短い文章を読み、漢文の面白さを味わう。 ・句法に注意しながら正確な理解をする。	◆1年次の復習 漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話の面白さを読み取る。	8	話の面白さを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。 基本的な句法を理解する。
	7	(古)随筆(一) ・徒然草・方丈記	・各章段の主題を現代に当てはめ自分自身の考え方、生き方を振り返る。	◆助詞の学習 文章中の表現を根拠にし、筆者の生き方や考え方を話し合う。	8	筆者の人生観や人間観を読み取っている。 形の上で紛らわしい語を文法的に識別できる。
2	8 9	(漢)漢詩(近体詩) 鹿柴 宿建徳江 春夜洛城聞笛 別董大　涼州詞 送友人月夜	・漢詩の種類とその特徴を理解する。	漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して読み取る。	2 8	漢詩の詩形や押韻、対句などについて理解する。 それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解する。
	10	(古)物語(一) ・竹取物語 ・伊勢物語 ・大和物語	・登場人物の人間関係を正確に掴み、微妙な心理の変化を理解する。	物語の展開や語句を表現に即して読み取るとともに、当時の人々が物語に込めた思いを考える。	8	文章を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。 基本的な敬語法について理解する。

	11	(漢)史伝 ・鴻門之会 ・四面楚歌	・古代中国の歴史の面白さを味わい、登場人物の魅力を味わう。	話の展開を読み取るとともに、歴史のおもしろさや登場人物の魅力について話し合う。	8	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。 『史記』や司馬遷について理解する。
	12	(古)随筆 ・枕草子	・各章段の主題を現代に当てはめ自分自身の考え方、生き方を振り返る。	古典に表れた人間の生き方や考え方について、文章中の表現を根拠に話し合う。	8	筆者の美意識や機知を読み取る。 当時の宮廷生活を理解しようとする。
	1	(漢)思想 儒家・道家の思想 ・論語 ・孟子 ・荀子	・一語一句の意味、語順、文脈に注意しながら内容を正確に読解する。	◆願望・抑揚◆選択 個々の相違点を意識し、儒家・道家の主張について考える。	4	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取り、思想を理解する。
	2	・老子 ・荘子 (古)物語(二) ・源氏物語	・登場人物の人間関係を正確に掴み、微妙な心理の変化を理解する。	登場人物の心情を場面に応じて読み取る。	6	物語の内容を理解するとともに、興味関心を高める。 紛らわしい敬語法を正確に読み取る。
	3	・大鏡	・敬語について正しい理解を得る。	歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取る。	6	歴史物語の特徴と文学的意義を理解する。

教科名	地理歴史	科目名	世界史A	単位数	2単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース	履修形態	必修

科目の目標	1 近現代史を中心とする世界の歴史を、わが国の歴史と関連付けながら理解させる。 2 人類が直面する課題を政治・経済・文化・生活など様々な観点から考察させることによって、歴史的思考力を育てる。 3 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を育成する。
学習内容の概要	近世以前の諸地域世界の特質をつかんだ上で、大航海時代を背景にアジア世界とヨーロッパ世界が接触や交流・進出を深め世界が一体化に向かいはじめる状況を概略的に把握する。また、近現代史以降一体化がさらに進んでいく状況を、わが国と関連付けながら歴史的に理解し、あわせて人類の今後の課題について具体的に考察する。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	a.関心・意欲・態度	b.思考・判断・表現	c.資料活用の技能	d.知識・理解
	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとしている。	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見出し、世界史的視野にたって多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追及し考察した過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。

教科書、教材など	教科書 明解 世界史A（帝国書院） 副教材 明解 世界史Aノート（帝国書院）
授業形態	講義形式・グループ学習（学級単位による授業）

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4	1部 世界の一体化と日本 1章 前近代の諸文明 序節 人類の始まり	各地域世界が形づくられていく過程を理解する。	人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産革命。人類が文明を築き、歴史時代へはいっていくありさまを概観。	6	【関】食料生産革命、文明の成立などについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、人類史について考えようとしている。 【思】この時代について考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】先史時代について概観し、人間の進化を把握するとともに、基本的知識を身につけている。
		1節 東アジアの文明	東アジアを通して、日本を含む東アジアの文明の特質を理解する。	東アジアの風土と諸民族、封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、冊封体制。		【関】東アジアについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、東アジアの特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】日本を含む東アジアの文明の特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。

	5	2節　南アジアの文	南アジアの文明の特質を理解する。	南アジアの風土と諸民族と宗教。仏教、ヒンドゥー教、イスラームの影響。	6	【関】南アジアについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、南アジアの特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】南アジアの文明の特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。
		3節　東南アジア	東南アジアの特質を理解する。	自然環境や地理的位置に着目。インドと中国の両文明の影響の様子。それぞれの地域での多様な社会と文化。		【関】東南アジアについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、東南アジア世界の特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】東南アジアの特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。
		4節　西アジア・北アフリカの文明	西アジア・北アフリカの文明の特質を理解する。	西アジア・北アフリカの風土と諸民族。イスラームの成立と拡大・分裂。		【関】西アジア・北アフリカについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、西アジア・北アフリカの特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】西アジア・北アフリカがの成立とその特色、地域的な拡大と独自の世界の形成について、イスラーム国家の柔軟性やムスリム商人の役割などを把握し、基本的知識を身につけている。
	6	5節　ヨーロッパの文明	ヨーロッパの文明の特質を理解する。	ヨーロッパの風土と諸民族。ギリシア・ローマ文明の伝統。キリスト教の発展。封建社会。	8	【関】ヨーロッパについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、ヨーロッパ文明の特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパの文明の特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。
		6節　南北アメリカの文明	南北アメリカ大陸において独自の文化が築かれていたことを理解する。	南北アメリカ大陸の風土と先住民。ヨーロッパが進出する以前の南北アメリカ大陸独自の文化。		【関】南北アメリカの独自の文明に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、特質について考えようとしている。 【思】特質を考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】南北アメリカの文明の特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。
		7節　ユーラシアの交流圏	ユーラシアの交流圏が成立していくようすを巨視的かつ視覚的に把握し、相互の文化受容の進展について理解する。	ユーラシア規模の交流圏が成立していくようす。		【関】ユーラシアの交流圏のに対する関心を高め、意欲的に追究し、考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域(都市や港市)のネットワークを把握し、基本的知識を身につけている。

	7	2章　一体化に向かう世界 1節　繁栄するアジア	アジア諸地域の安定した支配と経済の繁栄を背景に、文化も黄金時代を迎えたことを理解する。	アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会と文化。	8	【関】アジア諸地域に対する関心を高め、意欲的に追究し、その特色について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】成熟期を迎えたアジア諸地域の特色を理解し、その知識を身につけている。
2	8	2節　大航海時代と新たな国家の形成	16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパのわく組みとなった主権国家体制の形成について理解する。	ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓。16世紀頃から始まった主権国家体制の形成。	2	【関】16～18世紀にかけてのヨーロッパ世界に対する関心を高め意欲的に追究し、考察しようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパではルネサンスと宗教改革、新航路の開拓を経て主権国家体制が形成され、アメリカではヨーロッパ人による征服と入植・開発が先住民社会の変質を余儀なくしたこと、またアジア貿易への参入やメキシコ銀の流入がヨーロッパ経済の成長と転換をもたらしたことを把握し、その知識を身につけている。
	9	3章　欧米の工業化とアジア諸国 の動揺 1節　ヨーロッパとアメリカの諸革命	市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。	アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命。西ヨーロッパとアメリカの産業社会。	8	【関】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に対する関心を高め、意欲的に追究し近代世界が確立したことについて考えようとしている。 【思】社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを判断して、一連の思考の過程を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用して、社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを考察する技能を身につけている。 【知】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命について理解し、その知識を身につけている。
	10	2節　自由主義・ナショナリズムの進展	自由主義とナショナリズムが進展していくようすとアメリカの発展について理解する。	19世紀後半のヨーロッパ、アメリカ社会。	8	【関】1848年頃に関心を持ち、意欲的に追究し、考えようとしている。 【思】1848年頃を考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】1848年頃のを資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】1848年を転換点として、自由主義とナショナリズムが進展したことを理解し、その知識を身につけている。
		3節　アジア諸国の動揺	アジア諸国の動揺のようすを理解する。	オスマン帝国の弱体化やムガル帝国の崩壊。ヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況。植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折。伝統文化の変容。		【関】ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、その特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況など、アジア諸国の動揺を理解し、その知識を身につけている。

	11	4節　東アジアの大変動	東アジアの大変動を理解する。	アヘン戦争やアロー戦争。東アジアの伝統的な国際秩序が崩壊していく過程。ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況。半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折。	8	【関】ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、その特質について考えようとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況、半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、その中での日本の対応など、東アジアのようすを理解しその知識を身につけている。
		2部　地球社会と日本 1章　現代世界の芽ばえと世界大戦 1節　現在につながる社会の形成	20世紀という時代の特質を把握するとともに、世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解する。	交通革命。マス=メディアの発達。企業や国家の巨大化。社会の大衆化と政治や文化の変容。公教育の普及と国民統合。世界の変容。		【関】19世紀社会の急激な変化と世界の一体化に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、その特質を人類史的視野から考えようとしている。 【思】考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】20世紀という時代の特質を人類史的視野から把握するとともに、人口移動から世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解しその知識を身につけている。
	12	2節　第一次世界大戦がもたらしたもの	20世紀初頭の変化の様相を理解する。	第一次世界大戦。ロシア革命、ソヴィエト連邦の成立。戦争と革命による国際秩序の変化。アメリカの大衆生活とその波及。	8	【関】第一次世界大戦、平和の意義などに対する関心を高め意欲的に追究するとともに、20世紀初頭の変化の様相について考えようとしている。 【思】考察し一連の思考の過程を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】第一次世界大戦の原因と性格、ロシア革命の展開と影響、戦争と革命による国際秩序の変化、国際協調とヴェルサイユ体制、アメリカ的生活様式の資本主義社会への普及について理解し、その知識を身につけている。
3	1	3節　"民族自決"を求めて	"民族自決"を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。	インド・中東および東アジアの民族運動。アジアのナショナリズム。	4	【関】民族運動に対する関心を高め意欲的に追究するとともに、アジアのナショナリズムの動きについて考えようとしている。 【思】考察し一連の思考の過程を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】第一次世界大戦後の民族運動の動向が世界史の新しい潮流をつくり出したことを理解し、その知識を身につけている。
		4節　経済危機から第二次世界大戦へ	第二次世界大戦と20世紀前半の国際政治の流れを概観し、国際関係の変遷と社会の特質を理解する。	第二次世界大戦。及ぼした影響。平和の意義。国際政治、国際関係の変遷と社会の特質。		【関】戦争の特質と平和の意義について考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 【思】考察し判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】世界恐慌と資本主義の変容、20世紀前半の国際政治の流れ、第二次世界大戦の原因や性格、平和の意義について理解し、その知識を身につけている。

	2	2章　冷戦から地球社会へ 1節　冷たい戦争の時代	第二次世界大戦後の米ソ対立、アジア・アフリカの民族運動と独立を理解し、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立。アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立。核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題。	6	【関】大戦後の世界動向について関心を高め、意欲的に追究し考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 【思】考察し判断した過程や結果について適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、平和共存と多極化の進展などを通して、1970年頃までの世界の大きな動向について理解しその知識を身につけている。
		2節　冷戦終結への道のり	米ソ冷戦の終結などから、世界が大きく変容し、今日に至っていることを理解する。	米ソ冷戦の終結。世界の変容。		【関】1970年代以降世界の大きな変容に対する関心を高め、意欲的に追究し考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 【思】考察し判断した過程や結果について適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】市場経済の世界化、米冷戦の終結などから、1970年代以降の世界の大きな変容について理解し、その知識を身につけている。
	3	3節　地球社会への歩み	日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向を模索し、これからの国際社会における日本の役割について考察する。	冷戦終結後の世界の政治・経済の動向。これからの国際社会における日本。	6	【関】これからの国際社会における日本の役割、共存する方向について考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 【思】考察し判断した過程や結果について適切に表現している。 【技】資料を収集し適切に活用する技能を身につけている。 【知】冷戦終結後の世界の政治・経済の動向、これからの国際社会における日本の役割、日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について理解し、その知識を身につけている。

教科名	地理歴史	科目名	日本史B	単位数	3単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)	履修形態	必修

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。 原始・古代から現代に至る歴史の展開を、同じ地理歴史科の世界史や地理との関連を一層重視して、国内外の地理的条件やアジアを含む世界史的視野に立ち、政治、経済、社会、文化、国際環境など歴史を構成する要素を統合した幅広い見方で大きく把握させる。と同時に、各時代の国家・社会の特色や時代の変遷に関わる総合的な考察を通じて、我が国の文化がどのような特色をもち、どのような伝統が形成されてきたかについての認識を深めることを重視している。その際、諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によってとらえる歴史的な見方や考え方を身に付け、歴史的な思考力の育成を図るとともに、国際社会に主体的に生き平和的で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養うことがこの科目のねらいである。
学習内容の概要	1「原子・古代の日本と東アジア」では、旧石器時代から平安時代までを扱い、原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、東アジア世界の動向と関連付けて考察させる。なお、この大項目における「歴史と史料」では、歴史が諸資料に基づいて考察され、叙述されていることの理解を図ると同時に、歴史への関心を高め、文化財保護の重要性に気づかせる。 2「中世の日本と東アジア」では、中世国家と社会や文化の特色について、東アジア世界の動向と関連付けて考察させる。なお、この大項目における「歴史の解釈」では、諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通じて、歴史の展開の置ける諸事象の意味や意義を解釈させる。 3「近世の日本と世界」では、近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察させる。なお、この大項目における「歴史の説明」では、歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道を立てて考えを説明させる。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
	・日本の歴史展開に関心と問題士気を高めているか。 ・民主的、平和的国家。社会の一員としての自覚を深め、現代日本社会に生きる意欲を高めているか。	・日本史の知識を踏まえて、現代日本の課題を歴史的視点から考察しようとしているか。 ・追求し、考察した過程や結果を適切な方法で表現しているか。	・日本史の基本的な事柄に関する諸資料を様々な方法で収集しているか。 ・日本史の理解に必要な情報を主体的に選択して活用し、歴史的事柄を追求する方法を身に付けているか。	・日本史を理解するために必要な知識を身に付けているか。 ・日本史と世界史を関連づけながら理解しているか。 ・地域の歴史と日本史の関連を理解しているか。

教科書、教材など	教科書:詳説日本史B(山川出版)　補助教材:日本史のライブラリー(とうほう)
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4	第Ⅰ部 原始・古代	人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。	・図表を理解しながら、原始的な生活や文化を総合的に理解させる。	9	日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立を自然環境の変化や大陸との影響に着目してとらえることができたか。
	5	第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権	古墳時代後期～終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。	・稲作の普及が国家の成立につながる過程を遺構と結びつけながら理解させる。 ・大陸文化の影響を直後に受けていることをおさえ、文化の新たな展開につなげさせる。	9	古墳時代から終末期にかけての文化・生活の変化、大王を中心とする政治制度を踏まえ、ヤマト政権を総合的に理解できたか。

	6	第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への 3. 平城京の時代 4. 天平文化 5. 平安王朝の形	律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化の形成過程について考察し、律令に基づく国内統治体制について理解する。	・文化史ではセンター試験を考慮し、教科書の写真等を利用して視覚による理解も深めさせる。	12	血縁関係の推古天皇による政権運営や飛鳥文化の形成、律令体制の過程と白鳳文化の形成過程や大宝律令に基づく、統治組織・官僚制・土地と民衆の把握・税制及び密教芸術が生まれた弘仁・貞観文化の意義を理解できたか。
	7	第3章 貴族政治と国風文 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の 展開と武士	摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察し、新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。	・寺院や仏像のプリントを配布して視覚から特徴を理解させる。 ・藤原氏の台頭と国風文化の関連を考えさせる。	12	律令体制の変容の観点から摂関政治を考察し浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達に着目して、貴族の生活・文化や武士の反乱や成長などから中世社会の萌芽を見出すことを理解できたか。
2	8 9	第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立 1. 院政と平氏の台 2. 鎌倉幕府の成 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と 幕府の衰退 5. 鎌倉文化	院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程や鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい機運が生まれたことを理解する。	・激動の時代、宗教・思想・文学が人を動かし社会を変える力を持つことを、資料集等を用いて理解を深めさせる。	3 12	院政期の政治構造や経済・社会・文化・、外戚関係や日宋貿易の展開、平氏政権の特性、封建制度の成立、文永の役・弘安の役、得宗専制政治の展開、農業・商工業の発達による社会の変動、永仁の徳政令の発布、鎌倉仏教の多様な動きの社会的・思想的な意義やその影響について考察できたか。
	10	第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と 庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場	南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえ、幕府の動揺や武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。	・室町時代は社会背景をもとに、大きく文化の特色が異なることを理解させる。	12	建武政権の成立と崩壊を踏まえ南北朝の動乱を考察し、守護大名に着目して室町幕府の機構の確立、日明貿易・日朝貿易の展開、土一揆の発生、南北朝・北山・東山文化を通じ、武家・公家文化の融合、禅文化の果たした役割などを踏まえ、能・狂言・茶の湯・生け花などを理解できたか。
	11	第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 桃山文化 3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造	大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、欧州人の東アジアへの進出とその影響や幕藩体制の確立期の兵農分離や村落・都市支配などを理解する。	・織豊政権下の文化との関連でその特色を学ばせる。	12	鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易の展開を踏まえてヨーロッパ世界との接触とその影響、検地や刀狩、織豊政権の統一過程と桃山文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化の中に溶け込んでいったこと、秀吉の朝鮮侵略や南蛮文化にも着用して考察できたか。

3	12 1	第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化	17世紀後半から18世紀前半までの幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で理解する。	・身分社会を維持するため、儒学が果たした役割を資料集で深め、特に幕府の禁教・仏教界策を中止させる。 ・上方文化の背景を学び、その代表作家や作品、なぜ文化の担い手が町人に移ったのか、その背景を学ばせる。	9 9	文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治を取り上げ、幕政の安定過程や農業技術の進歩に伴う農業生産の進展、貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都の発達、元禄文化について、町人の経済的繁栄や商業活動の拡大、幕府の教学として発展する儒学に着目し、文学・学問・美術を踏まえて考察できたか。
	2 3	第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化	農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考える。	・幕府の政策と洋学の発達との関連を学ばせる。 ・伝統文化の否定、その再発見に重点をおき学ばせる。	9 9	幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義、鎖国政策への批判や寛政の改革・文化文政時代・天保の改革における失政、寺子屋など庶民教育機関の普及、浮世絵など文化における近代化の芽生えを考察できたか。

教科名	数学	科目名	数学演習	単位数	2単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)	履修形態	必修

科目の目標	基礎から実践的な問題を通して数学全般の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理をする能力を伸ばし、応用問題に対応できる力を身につけさせることを目標とする。
学習内容の概要	数学ⅠAの全範囲から、基礎基本を確認しながら進研模試レベルまでを演習する。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	A: 数学への関心・意欲・態度	B: 数学的な見方や考え方	C: 数学的な表現・処理	D: 数量・図形などについての知識・理解
	数学ⅠAの全範囲に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学ⅠAの全範囲における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学ⅠAの全範囲において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学ⅠAの全範囲における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

教科書、教材など	プリント
授業形態	講義・演習・AL型

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4	式の計算	IAの範囲の基礎知識を確かめ、各項目において最も典型的な問題から標準レベルの問題の解法を身に付ける。	ペア学習、グループ学習など、さまざまな形態で演習に取り組む	9	A/B/C/Dの総合評価
	5	1次不等式の解法			9	
	6	集合 命題と論証			12	
	7	2次関数			12	
2	8	2次関数の最大・最小			3	
	9	2次方程式、2次不等式			12	
	10	三角比の基本 三角比と図形			12	
	11	データの分析 場合の数			12	

2	12	順列・組合せ			12	
3	1	確率			6	
	2	図形の性質 整数の性質			9	
	3	総合演習		マーク問題にチャレンジする	9	

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進クラス)	履修形態	必修

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
学習内容の概要	中学校理科との関連を考慮しながら、生物学の基本的な概念の形成を図るとともに、生物学的に探求する方法の習得を通して、科学的な思考力、判断力及び表現力を育成する。内容は代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 観察・実験の技能	D 知識・理解
	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心をもち、自然現象に対して探求していく態度を身につけている。	生物や生物現象を通して、自然現象の中に問題を見いだし、科学的に考察した考えを表現できている。	生物や生物現象について、目的意識をもって観察・実験を行い、生物学的に探求する能力と技術を身につけている。	生物学の基本的な概念や原理・概念を理解し、科学的な知識や見方を身につけている。

教科書、教材など	教科書:高等学校改訂新生物基礎(第一学習社)
授業形態	講義形式の授業を主体とし、必要に応じて観察・実験および問題演習を行う。

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1学期	4 5	生物の特徴	生物は多様であるが、細胞構造などの共通性や、共通の起源を学習する。また、酵素のはたらき、光合成と呼吸の学習を通して生物の代謝とエネルギーの取り出しについて理解する。	生物の多様性と共通 エネルギー代謝 光合成と呼吸	6 6	・生物のもつ特徴としての多様性と共通性、代謝、生物のエネルギーを扱うミトコンドリアと葉緑体について興味関心をもつ。 A ・生物のもつ共通性と多様性が進化に基づくこと、酵素の働きと反応の調節の関係、生命活動にとってエネルギーとはどのようなものかを理解している。 B ・原核生物と真核生物、カタラーゼによる過酸化水素の分解、葉緑体の観察を行う。 C ・細胞構造の生物の共通性、生命活動の中で酵素やATPがどのような役割を担っているのか、呼吸と光合成の内容を理解する。 D

	6 7	遺伝子とその働き	DNAの構造、遺伝情報は塩基配列であることを理解し、タンパク質合成について学習する。また、遺伝子の複製と発現について学習する。	遺伝情報とDNA 遺伝情報の発現 遺伝情報の分配	8 8	・遺伝子はDNAであること、転写と翻訳の過程、遺伝情報の分配について興味関心をもつ。 ・塩基配列に遺伝情報があるということ、タンパク質とDNAの関係、遺伝情報の発現と細胞の分化の関係を考察する。 ・試料からDNAを抽出する方法、だ腺染色体の染色方法、細胞周期の各時期の時間の推定方法を学ぶ。 ・DNAの構造、アミノ酸の配列によるタンパク質の決定、DNAの分配を理解する。	A B C D
2学期	8 9 10	生物の体内環境と恒常性	恒常性のしくみについて理解し、循環系、肝臓と腎臓、自律神経系、内分泌系、免疫について学習する。	体液という体内環境 腎臓と肝臓 神経とホルモンによる調節	2 8 8	・体内環境、自律神経系とホルモンによる調節作用、生体防御のしくみについて探求しようとする。 ・体液とはたらき、腎臓と肝臓の機能、自律神経とホルモンが協同で作用する調節のしくみ、自然免疫と獲得免疫について説明できる。 ・腎臓の構造、運動による心拍の変化、赤血球の正確な細胞像を観察できる。 ・内部環境とその恒常性の維持について、尿生成の重要性、血糖濃度や体温についての恒常性のしくみ、自然免疫と獲得免疫の機構を理解する。	A B C D
	11 12	植生の多様性と生態系	植生について、構造や遷移のしくみを理解する。また、世界と日本のバイオームと気温と降水量の関係を学習する。	さまざまな植生 植生の遷移 気候とバイオーム	8 8	・森林では階層構造を形成すること、植生遷移について、植生と環境のかかわりについて興味関心をもつ。 ・植生の特徴をとらえることができるか、植物どうしの資源をめぐる競争、バイオームの分布について考察する。 ・土壌にどのような種子が存在するか、照葉樹と夏緑樹の違いがわかる。	A B C

						・遷移が起きるしくみ、バイオームが気温と降水量の違いに起因する、身近な植生を理解する。	D
3学期	1 2 3	生態系とその保全	生態系の成り立ち、物質とエネルギーの循環について理解する。その上で、生態系と環境問題について学習する。	生態系 物質循環とエネルギーの流れ 生態系のバランス 人間活動と生態系の保全	4 6 6	・生態系とは何か、生態系での物質やエネルギーの移動、生態系におけるバランス、生態系における人間生活の影響について興味関心をもつ。	A
						・作用と環境形成作用や相互作用がどのようなものであるのか、生態系のエネルギー移動、生態系のバランスが保たれるしくみ、そのバランスが人類の活動でどのように変化しつつあるのかを理解できているか。	B
						・土壌動物であるミミズのはたらき、イオン濃度を適切に調べられるか、身近な外来生物をインターネットで調べることができる。	C
						・生態系を1つのまとまりとして捉えることができるか、窒素循環や窒素固定などについての理解、生態系のバランス、これまでの学習を通じて得た知識を活用して、環境問題について保全の方法を具体的に考えることができる。	D

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4 単位
対象学年	第 2 学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)	履修形態	必修

科目の目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 1. 積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとすることができる。 2. 聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解することができる。 3. 話したり書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えることができる。 4. 言語や運用についての知識を身につけ，背景にある文化を理解することができる。
学習内容の概要	(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して，次のような言語活動を英語で行う。 ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語を読んで情報や考えを理解したり概要や要点をとらえたりする。聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだり学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて話し合い意見の交換をする。 エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて簡潔に書く。 (2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために，次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア リズムやイントネーションなどの音声的な特徴，話す速度，声の大きさに注意し聞いたり話したりすること。 イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して，理解したり伝えたりすること。

科目の評価基準(観点及びその趣旨)	A:コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B:外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーション活動を図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを適切に理解している。	外国語の学習を通して，言語やその運用についての知識を身に付けているとともに，その背景にある文化などを理解している。

教科書、教材など	LANDMARK Fit ENGLISH Communication Ⅱ(啓林館)
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4	Lesson1 I'm the Strongest!	・車いすテニスのルールを理解する。 ・慎吾が車いすテニス選手になるまでの経緯を理解する。 ・慎吾がどのようにスランプを克服したか理解する。 ・プロ車いすテニス選手としての慎吾の願いを理解する。	完了形の分詞構文，受動態の分詞構文について理解する。	12	A [ア]言語活動への積極的な取り組み [イ]コミュニケーションを継続する努力 B [ア]正確さ(リズム・イントネーション・文法。情報の内容) [イ]適切さ(場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ) C [ア]正確さ(リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解) [イ]適切さ(場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り) D [ア]言語についての知識 [イ]文化についての理解

	5	Lesson2 Tokyo's Seven-minute Miracle	・新幹線の清掃員が7分間で行うことについて理解する。 ・清掃員が何と呼ばれているか，彼らのどのような点が評価されているか理解する。 ・清掃員に対する高い評価の背景を理解する。	強調のための倒置、形式目的語のitについて理解する。	12	A ［ア］言語活動への積極的な取り組み ［イ］コミュニケーションを継続する努力 B ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） ［イ］適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ） C ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） ［イ］適切さ（場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り） D ［ア］言語についての知識 ［イ］文化についての理解
	6	Lesson3 Saint Bernard Dogs	・セントバーナード犬の救助犬としての歴史を理解する。 ・優秀な救助犬，バリーの功績を理解する。 ・セントバーナード犬が売りに出された経緯を理解する。	現在完了進行形，現在完了形の受動態，S+V+分詞について理解する。	16	A ［ア］言語活動への積極的な取り組み ［イ］コミュニケーションを継続する努力 B ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） ［イ］適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ） C ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） ［イ］適切さ（場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り） D ［ア］言語についての知識 ［イ］文化についての理解
	7 8	Lesson4 Chanel's Style	・IT業界とファッション業界，それぞれの革新者について理解する。 ・シャネルがシンプルで快適な服を作った時代背景について理解する。 ・シャネルが考案したファッション品を理解する。	S+V+分詞／S+V+O+分詞，付帯状況を表すwith+O+Cについて理解する。	16 4	A ［ア］言語活動への積極的な取り組み ［イ］コミュニケーションを継続する努力 B ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） ［イ］適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ） C ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） ［イ］適切さ（場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り） D ［ア］言語についての知識 ［イ］文化についての理解
2	9	Lesson5 Science of Love	・なぜ人は恋をするのかの発表の概要を理解する。 ・子ども時代の経験，遺伝子，体内の化学物質，それぞれを理由とする3つの学説を理解する。	同格のthat節、疑問詞+do you think(+S)+V?について理解する。	16	A ［ア］言語活動への積極的な取り組み ［イ］コミュニケーションを継続する努力 B ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） ［イ］適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ） C ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） ［イ］適切さ（場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り） D ［ア］言語についての知識 ［イ］文化についての理解

	10	Lesson6 Gaudi and His Messenger	・ガウディーとサグラダ・ファミリアの歴史を理解する。 ・外尾が専任彫刻家になるまでの経緯を理解する。 ・外尾が述べる，ガウディーの信条について理解する。	関係副詞の非限定用法、if節を用いない仮定法について理解する。	16	A ［ア］言語活動への積極的な取り組み ［イ］コミュニケーションを継続する努力 B ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） ［イ］適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ） C ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） ［イ］適切さ（場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り） D ［ア］言語についての知識 ［イ］文化についての理解
	11	Lesson7 Letters from a Battlefield	・硫黄島の戦いや，栗林中将の作戦について理解する。 ・硫黄島から兵士が家族に宛てた手紙について理解する。 ・レッスン本文を読んでのエッセイを書く。	譲歩を表す複合関係詞、動名詞の意味上の主語について理解する。	16	A ［ア］言語活動への積極的な取り組み ［イ］コミュニケーションを継続する努力 B ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） ［イ］適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ） C ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） ［イ］適切さ（場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り） D ［ア］言語についての知識 ［イ］文化についての理解
	12	Lesson8 Edo:A Sustainable Society	・今日のごみ問題について理解する。 ・江戸時代の循環型社会について理解する。 ・江戸時代の自然環境と生活水準の変化を理解する。 ・江戸時代の循環型社会が成功した理由を理解する。	注意すべき関係代名詞の非限定用法，独立分詞構文について理解する。	16	A ［ア］言語活動への積極的な取り組み ［イ］コミュニケーションを継続する努力 B ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） ［イ］適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ） C ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） ［イ］適切さ（場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り） D ［ア］言語についての知識 ［イ］文化についての理解
3	1	Lesson9 AI and Our Future	・AIとは何か理解する。 ・「ディープ・ラーニング」を用いてAIができることについて理解する。 ・AIがもたらしうる利点について理解する。 ・AIの潜在的な危険性について理解する。 ・AIについて意見交換する。	as if[though]+仮定法，助動詞+have+過去分詞について理解する	8	A ［ア］言語活動への積極的な取り組み ［イ］コミュニケーションを継続する努力 B ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） ［イ］適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ） C ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） ［イ］適切さ（場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り） D ［ア］言語についての知識 ［イ］文化についての理解

	2	Lesson10 Bhutan: A Happy Country	・震災後の日本を訪れたブータン国王夫妻について理解する。 ・ブータンの地理と歴史を理解する。 ・ブータンの国民総幸福量への捉え方について理解する。	強調構文，副詞節中の〈S+be〉の省略について理解する。	12	A ［ア］言語活動への積極的な取り組み ［イ］コミュニケーションを継続する努力 B ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） ［イ］適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ） C ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） ［イ］適切さ（場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り） D ［ア］言語についての知識 ［イ］文化についての理解
	3	Reading3 My Education, My future	・自分の教育に対して責任を持つことについて理解する。 ・同世代の高校生や有名人がどのように難題に取り組み，成功したか理解する。	・どのような目的のため勉強しているか書く。	12	A ［ア］言語活動への積極的な取り組み ［イ］コミュニケーションを継続する努力 B ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） ［イ］適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ，速さ） C ［ア］正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） ［イ］適切さ（場面や状況，目的に応じた聞き取り，読み取り） D ［ア］言語についての知識 ［イ］文化についての理解

教科名	外国語	科目名	英語表現Ⅰ	単位数	3 単位
対象学年	第 2 学年	対象コース	スポーツ科学コース(特進)	履修形態	必修

科目の目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，事実や意見などを多様な観点から考察し，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
学習内容の概要	ア 与えられた話題について，即興で話す。また，聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。 ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。

科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	② 表現の能力：話すこと(S)，書くこと(W)	③ 理解の能力：聞くこと(L)，読むこと(R)	④ 言語や文化についての知識・理解
	○ モデル会話に関心を持ち，聞き，発話しようとしている。 ○ 間違いを恐れず，積極的に表現しようとしている。 ○ 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	○ 自分のことや与えられた課題について書くことができる。 ○ 自分のことや与えられた課題について話すことができる。	○ 発音に関する語句や英文を聞き，正しい解答を選べる。 ○ つなぎの言葉の使い方を理解している。	○ いろんなトピックについて，内容を理解することができる。 ○ それぞれのページで学んだ文法を理解している。 ○ 学習した文法を理解し，知識として定着している。

教科書、教材など	Vision Quest English Expression Ⅰ Core (61 啓林館 英Ⅰ 330)
授業形態	講義・演習(学級単位による授業)

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容(実験・実習等)	時間	評価
1	4	Lesson 1 Do you like sports? スポーツは好き？	初対面での自然な会話の流れを学び，自己紹介や他者紹介ができる。	G 文の種類 F 相づちを打つ／聞き直す T 紹介 P イントネーション	9	(a) (c) (d) A-B-C-D
	5	Lesson 2 I study Japanese through anime アニメで日本語を学んでいます。	興味や関心を表す表現を学び，自らの興味・関心を紹介し，感想やおすすめの作品を伝えられる。	G 文型と動詞 F 言いかえる/話題を変える T 興味・関心 P リズム	9	(a) (c) A-B-C-D (a) (b) (c) A-B-C-D
	6	Lesson 3 Will you go home this summer? この夏は国に帰るの？	予定を尋ねたり伝えたりする会話を学び，旅行のプランを作って，ペアで発表できるようになる。	G 時制 F 計画する/予定する T スポーツ P 母音①	12	

		Lesson 4 I've never played soccer before. サッカーはやったことないんだ。	スポーツに関する表現を学び，スポーツ活動の経験を尋ねたり伝えたりできるようになる。	G 完了形 F 原因・理由を述べる T スポーツ P 母音②		(a) (c) (d) A-B-C-D
2	7	Lesson 5 The apple pie is delicious. アップルパイ、おいしいよ。	レストランでの会話表現を学び，食事の注文ができるようになる。	G 助動詞 F 許可を求める/依頼する T 食事 P 子音①	12	(a) (c) (d) A-B-C-D
	8	Lesson 6 I'm so glad I can see the Sydney Opera House. シドニー・オペラハウスが見られてすごくうれしい。	観光地や名所について説明を聞き，感想を表せる。観光地の案内ができるようになる。	G 受動態 F 喜ぶ/驚く T 観光 P 子音②	3	(c) A-B-C-D
	9	Lesson 7 Thank you for your invitation today. 今日はご招待ありがとう。	パーティでに招待された時やプレゼントを渡す時,お礼をいう時の表現を学び、伝えられるようになる。	G 不定詞 F 感謝する/謝罪する T 交際 P アクセント	12	(a) (c) A-B-C-D
	10	Lesson 8 How about going together this weekend? 今週末、一緒に行かない？	娯楽への誘い方を学ぶ。趣味について話し合ったり，メールを書いたりできるようになる。	G 動名詞 F 勧誘する／申し出る T 娯楽 P カタカナ語	12	(a) (b) (c) A-B-C-D
	11	Lesson 9 I'm unhappy with our school uniforms. 私は学校の制服が気に入ってないの。	学校の制服について賛成・反対意見を述べ合い，自分の意見を言うことができるようになる。	G 分詞 F 賛成する/反対する T ルール P 数字の発音	12	(a) (c) (d) A-B-C-D

3	12	Lesson 10 That's why it looks so nice! それであんなに立派なんだ！	日米の冬の行事について紹介し，文化の違いについて話し合う会話を学び，日本の文化や行事の紹介ができる。	G 関係詞 F 説明する T 文化 P つながる音	12	(a) (c) A-B-C-D
	1	Lesson 11 I hear the population of Japan is falling quickly. 日本の人口は急速に減っているって聞いたよ。	読書の必要性についての会話を学ぶ。日本の出生率の低下について自分の意見を表現できる。	G 比較 F 意見を述べる/主張する T 社会 P 変わる音	6	(a) (c) A-B-C-D
	2				9	(a) (d) A-B-C-D
	3	Lesson 12 I wish it were possible to get it back. 元に戻せたらいいんだけど。 復習	悩み事についての会話でアドバイスの仕方を学ぶ。悩んでいる人への助言や提案ができるようになる。 要点・要約の書き方 G : Grammar F : Function T : Topic P : Pronunciation	G 仮定法 F 助言する/提案する T 悩み事 P 聞こえなくなる音	9	(a) (b) (c) A-B-C-D 評価の観点 A: ・モデル会話に関心を持ち，聞き，発話しようとしている。 ・間違いを恐れず，積極的に表現しようとしている。 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 B: S ・モデル会話を英語らしい発音で発話することができる。 ・例文を英語らしい発音で発話することができる。 ・自分のことや与えられた課題について話すことができる。 ・紹介するトピックを決め、発表できる。 B: W ・学んだ文法を使って，文章を書くことができる。 ・自分のことや与えられた課題について書くことができる。 ・紹介するトピックを決め，原稿を書くことができる。 ・つなぎの言葉を使って文章を書くことができる。 ・パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。 C: L ・モデル会話に関する英文を聞き、正しい解答を選べる。 ・発音に関する語句や英文を聞き、正しい解答を選べる。 ・パートナーの言ったことを，正しく聞き取れる。

						C: R ・つなぎの言葉の使い方を理解している。 ・パラグラフの構成を理解している。 ・文章の要点をつかむことができる。 D: ・いろんなトピックについて，内容を理解することができる。 ・それぞれのページで学んだ文法を理解している。 ・学習した文法を理解し，知識として定着している。 評価対象 (a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト・定期考査

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース 特進クラス	履修形態	必修
科目の目標	発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、技術の名称や行い方、運動にかかわる一般原則や運動に伴う事故の防止等などを科学的に理解した上で合理的に運動を実践するとともに、計画を立て、実践し、課題解決策を考える力を身に付ける。				
学習内容の概要	体づくり運動、体ほぐし、体力を高める運動、各種目における基本技能の習得、各種目のルール等の知識習得、生徒の自主性によるゲーム運営と安全への意識の向上。				

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように、自ら進んで計画的に運動しようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行い方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方理解し、知識を身につけているか。

教科書、教材など	特になし
授業形態	実技・男女別合併授業

年間行事計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4	オリエンテーション	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようにする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	6	授業中の行動の観察
		体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方。	スポーツ技能の上達過程、安全について学習。		授業中の行動の観察 評価テスト（総時数6時間）
	5	体つくり運動	体つくり運動の特性を理解し、体をほぐしたり体力を高めたりする。	城北体操の習得。	8	授業中の行動の観察 実技テスト
		新体力テスト	自己の体力と運動能力を把握する。	正しい測定を行い、自己の能力診断をする。昨年との比較し、分析を行う。		診断テスト結果
	6	陸上競技	自己の能力に応じて運動の技能を高め、競技したり記録を高める。	各種目の基本技能の習得。	8	授業中の行動の観察 実技テスト
	7	バレーボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームが出来るようにする。	仲間と協力してゲームを展開し、課題を見つけて改善する。	6	授業中の行動の観察 実技テスト
2	8	ソフトボール	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームが出来るようにする。	仲間と協力してゲームを展開し、課題を見つけて改善する。	8	授業中の行動の観察
	9	サッカー			4 8 8	実技テスト
	10 11 12	バスケットボール バドミントン	自己の能力に応じて運動技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームが出来るようにする。	仲間と協力してゲームを展開し、課題を見つけて改善する。	6 4	授業中の行動の観察 実技テスト
3	1				4	
	2	ダンス	感情をこめて踊ったり、仲間と楽しく踊ったりして発表できるようにする	ダンスの特性を理解し、基本動作やリズム感を養う。	2	授業中の行動の観察 実技テスト
	3					授業中の行動の観察 作品の評価 ※年間を通して出席状況

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース・特進クラス	履修形態	必修

科目の目標	個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
学習内容の概要	②生涯を通じる健康 生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること、およびわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	健康に対する関心を持ち、健康を保持増進させるためには何が必要かを考え、実行できる態度が身についている。また、日々変化する健康問題について関心を持ち、自他の健康について考える意欲をもつ。	健康についての思考を深め、その日常での活用方法を適切に判断し、健康行動の適切な選択ができる。	保健の授業を通して、必要な基本的技能を習得し、実際の場面で適切な行動がとれるようになる。	保健に関する基礎的な知識や、ヘルスプロモーションの理念を理解できる。また、保健に関するさまざまな分野における知識を身につけ、その役割について理解できる。

教科書、教材など	教科書:最新保健体育（大修館書店）、最新保健ノート（大修館書店）
授業形態	教室での一斉授業、グループ学習、ビデオ学習

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4	単元2 生涯を通じる健康 ①思春期と健康	思春期における体の変化と心の発達にかかわる健康課題を理解する。	性ホルモン、生殖器の発達 精神的な不安定	3	
		②性への関心・欲求と性行動	性意識の男女差，性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを理解する。	セクシュアルハラスメント 性情報と性行動		
	5	③妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程における健康課題を理解する。	母子健康手帳 母子保健サービス	3	
	6	④避妊法と人工妊娠中絶	家族計画の意義と適切な避妊法を理解し、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響を理解する。	家族計画 人工妊娠中絶	4	
	7	⑤結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係について理解する。	性機能の成熟 精神面での発達 健康状態の把握	4	
2	8 9	⑥中高年期と健康	中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みを理解する。	健康診断 生きがい ノーマライゼーション	1 4	定期考査 ノートチェック 授業への取り組み A,B,C,Dで評価する
		⑦医薬品とその活用	医薬品の正しい使用法について理解する。	医療用医薬品 自然治癒力 お薬手帳		

	10	⑧医療サービスとその活用	医療サービスをうける時の留意点を理解する。	医療保険 インフォームド・コンセントとセカンドオピニオン	4	
		⑨保健サービスとその活用	保健行政の役割について理解する。	保健行政 保健サービス 健康相談		
	11	⑩さまざまな保健活動や対策	民間や国際機関などの保健活動や対策について理解する。	日本赤十字社の取組み WHOの取組み ヘルスプロモーション	4	
		単元3 社会生活と健康 ①大気汚染と健康	大気汚染の原因とその健康影響を理解する。	大気汚染物質 ダイオキシン 地球温暖化		定期考査 ノートチェック 授業への取り組み A,B,C,Dで評価する
	12	②水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を理解する。	重金属 有機物 富栄養化	4	
		③環境汚染を防ぐ取り組み	今日の環境汚染の特徴を理解する。	排出基準 環境基本法 産業廃棄物 環境負荷		
3	1	④ごみの処理と上下水道の整備	ゴミの処理の現状や、その課題について理解する。	環境型社会	2	
	2	⑤食品の安全を守る活動	食品の安全のため、消費者が行うべきことを理解する。	食品添加物 食品衛生監視委員 食中毒予防三原則	3	
		⑥働くことと健康	働く人の健康問題と労働災害の防ぎ方について理解する。	働き方の変化とストレス 労働災害 作業環境 健康管理		
	3	⑦働く人の健康づくり	職場がおこなう健康増進対策と、余暇の大切さとその活用の仕方について理解する。	メンタルヘルスケア ワークライフバランス 余暇の確保	3	定期考査 ノートチェック 授業への取り組み A,B,C,Dで評価する

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ	単位数	1単位
対象学年	第 2 学年	対象コース	スポーツ科学コース	履修形態	選択必修

科目の目標	・音楽に対する興味・関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む態度を身に付ける。 ・音楽的感性・技能を身に付け、音楽の生み出す曲想やリズムなどの美しさを感じ取りながら表現する能力を養う。
学習内容の概要	・音楽理論の基礎～音楽を学習する上での最も基礎的な音楽上の決り事について学習する。 ・実技～アルトリコーダーを使用し、独奏曲や二重奏曲をグループ学習で学ぶ。 ・鑑賞～バロック時代からの作曲家の紹介と、その作品を鑑賞する。 また、音楽に関わりの深い映画を鑑賞する。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	意欲・関心・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
	音楽を愛好し、音や音楽に関心をもち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り創造的な音楽活動の工夫をする。	自己のイメージをもち創造的な表現をするための技能を身に付けている。	多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。

教科書、教材など	MOUSA1（教育芸術社） アルトリコーダー
授業形態	講義、実技、鑑賞

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4 5	オリエンテーション アルトリコーダー実技	B♭ C♯の運指を覚える。	二重奏「小さな木の実」	3 3	正確な運指と曲に合った表現がで演奏することができたか。
	6 7	音楽の歴史と鑑賞	古典派の作曲家とその音楽を理解する。 映画により、モーツアルトについて深く知る。	ハイドン モーツァルト ベートーヴェン 「アマデウス」	4 4	作曲家の生い立ちや時代背景を理解し、作品を味わうことができたか。 モーツアルトについてより深く知ることができたか。
2	8 9	アルトリコーダー実技	読譜能力を高める。 レガート奏法を身につける。	二重奏「魔弾の射手」 二重奏「愛の喜び」	1 4	正確な運指と曲に合った表現がで演奏することができたか。
	10 11	音楽の歴史と鑑賞	ロマン派の作曲家とその音楽を理解する。	シューベルト メンデルスゾーン J.シュトラウス ショパン	4 4	作曲家の生い立ちや時代背景を理解し、作品を味わうことができたか。
	12	鑑賞	映画と映画中の音楽を味わう。	「陽のあたる教室」	4	映画と映画中の音楽を味わうことができたか。
3	1 2 3	アルトリコーダー実技 鑑賞	F♯ D♯の運指を覚える。 ロマン派の作曲家とその音楽を理解する。	二重奏「少年時代」 ドボルザーク スメタナ	2 3 3	正確な運指と曲に合った表現がで演奏することができたか。 作曲家の生い立ちや時代背景を理解し、作品を味わうことができたか。

教科名	芸術	科目名	美術Ⅰ	単位数	1単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース	履修形態	選択必修

科目の目標	美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、描写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、美術の伝統と文化についての理解を深める。
学習内容の概要	・サンドアート制作…砂を使った絵画技法を学び作画を行う。 ・水墨画…墨についての学習を通し様々な表現法を身に付け、創作活動に生かす。 名画や完成作品の鑑賞、批評会などの言語活動も適宜行う。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	意欲・関心・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
	美の創造的活動の喜びを味わい、美の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	墨、色砂のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な色彩表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の美術の効用や美の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、美のよさや美しさを創造的に味わっている。

教科書、教材など	高校生の美術Ⅰ（日本文教出版） スケッチブック、書道セット、サンドアートセット、和紙
授業形態	講義、実技、鑑賞

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4 5 6 7	オリエンテーション 水墨画の世界①	前年の学習を振り返るとともに、美の芸術的要素を理解し表現する。 墨の技法について理解し、その特性を生かして作品に取り組む。	「墨を知ろう」 「食べ物を描こう」 「人物を描こう」	3 3 4 4	墨の特性を踏まえ、水墨画の芸術的要素を理解し、個性を活かした表現が出来たか。 墨の明暗を美しく表現し、濃淡の用法を身に付け、表現することが出来たか。
2	8 9 10 11 12	水墨画の世界② 砂絵、サンドアートの世界①	有名画家の技法を学習し、その技法を異なった画材で行い作品に取り組む。 サンドアートの作品や表現の多様性を理解し、用法を身に付け、表現する。	「北斎漫画とは」映像学習 「北斎になろう」 「色砂に親しもう」 「練習用作品を作ろう」	1 4 4 4 4	映像の中から、その作者の技法を学び、表現することができたか。 砂絵の内容を踏まえ、砂の芸術的要素を理解し、個性を活かした表現が出来たか。また、練習作品の制作で、技法を身に着けることができたか。
3	1 2 3	砂絵、サンドアートの世界①	学習した技法を生かし、意図に応じた個性的な表現の工夫をする。	「オリジナル作品を描こう」	2 3 3	グラデーション、混色など、様々な技法を使い表現が出来たか。

教科名	芸術	科目名	書道Ⅰ	単位数	1単位
対象学年	第 2 学年	対象コース	スポーツ科学コース	履修形態	選択必修

科目の目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
学習内容の概要	・漢字仮名交じりの書…高校での古典臨書を生かし、感興や意図に応じた題材(書く言葉)の設定や創造的な作品制作を行う。 ・漢字の書…中国及び日本の名筆（古典作品）の臨書学習を通し様々な表現法や用筆法を身に付け、創作活動に生かす。 ・仮名の書…日本の重要文化である仮名の発生と展開を理解し、また臨書学習を通し様々な表現法や用筆法を身に付け、創作活動 に生かす。 古典や完成作品の鑑賞、批評会などの言語活動も適宜行う。

科目の評価基準 (観点及びその趣旨)	意欲・関心・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

教科書、教材など	書Ⅰ（教育図書） 鳥取城北高校選定筆、固形墨、半紙
授業形態	講義、実技、鑑賞

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容 (実験・実習等)	時間	評価
1	4 5 6	漢字の書の学習① 【楷書の古典に学ぶ】	書の歴史や作者の人物像、表現の多様性を理解し、楷書の用筆法を身に付け、表現する。	【古典臨書】 ①顔氏家廟碑 ②鄭羲下碑 ③牛橛造像記 【創作】 古典を基にした一字創作	3 3 4	古典に関わる様々な背景を理解するとともに、唐代、北魏時代の楷書の用筆法を身に付け、表現することが出来たか。
	7	漢字の書の学習② 【行書の古典に学ぶ】	書の歴史や作者の人物像、表現の多様性を理解し、行書の用筆法を身に付け、表現する。	【古典臨書】 ①争坐位文稿	4	古典に関わる様々な背景を理解するとともに、行草書の用筆法を身に付け、表現することが出来たか。
2	8 9 10	漢字仮名交じりの書②	・学習した古典の用筆法に基づいた表現を行う。 ・感興や意図に基づく個性的な表現の工夫を行う。	「自作の高校生短歌を書こう」	1 4 4	短歌制作に意欲的に取り組み、表現においては古典を基にした、感興や意図に応じた表現の工夫ができたか。 古典に関わる様々な背景を理解するとともに、篆書、隷書の用筆法を身に付け、表現することが出来たか。
	11 12	漢字の書の学習③ 【篆書・隷書の古典に学ぶ】 創作活動	書の歴史や作者の人物像、表現の多様性を理解し、篆・隷書の用筆法を身に付け、表現する。	【古典臨書】 ①甲骨文②泰山刻石 ③曹全碑 書道カレンダーを作ろう	4 4	題材の選定に工夫を凝らし、言葉の内容に沿った自分なりの表現が出来たか。
3	1 2 3	仮名の書の学習	・仮名の歴史や諸要素を理解する。 ・仮名の用筆法を身に付け、表現する。	基本点画練習 【古筆臨書】 ①高野切第３種 ②寸松庵色紙 【創作】 古筆を基にした半紙創作	2 3 3	日本独自の伝統文化であるかなの歴史や古典の背景を理解するとともに、仮名の基本的な用筆法を身に付け、表現することが出来たか。

教科名	保健体育	科目名	基礎体力	単位数	2単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学コース特進クラス	履修形態	必修

科目の目標	心と身体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
学習内容の概要	スポーツに限らず、神経・筋肉・関節へのストレスの除去、老廃物の除去等、身体に有益な状態を作りだす初動負荷トレーニングの理論・トレーニング方法を習得し、神経と筋肉の合理的な協調性（神経筋協応能）を高める。また、トレーニングにより「弛緩→伸張→短縮」の一連のサイクルを促進させ、パフォーマンスの向上を図る。人体解剖学などにより身体の仕組みを理解する。

科目の評価基準（観点及びその趣旨）	関心・意欲・態度	思考判断	運動の技能	知識・理解
	初動負荷理論に関心を持ち、競技力の向上には何が必要かを考え実行できる態度が身についている。	初動負荷理論についての思考を深め、日常生活での活用方法を適切に判断できるようになる。	基礎体力の授業を通して必要な技能を習得し、実際の場面で成果を発揮できるようになる。	初動負荷理論に関する基礎的な知識を身につけ、その役割りについて理解できる。

教科書、教材など	特になし
授業形態	実技及び講義（学級単位による授業）

年間行事計画

学期	月	項目	学習内容	時間	学習のポイント・評価等
1	4	トレーニング	関節可動域の測定 ストレッチ（肩・股関節）	6	現時点の肩関節・股関節の可動域を認識させる。
	5	トレーニング及び 講義	ベーシック種目から、各身体状況及び競技にあわせて種目展開を行う。高校総体までは、身体のほぐしを主としたトレーニングを行う。	6	筋肉の状態がパフォーマンスに直結していることからも、大会に備えて良い身体状況を確保させる。
	6			8	
	7			8	
2	8		ベーシック8種目を主として、強化種目に展開する。講義では、解剖学より肩関節周辺筋群・肩関節周辺筋群・体幹周辺筋群の理解を深め、肩関節・股関節の連動性や関節で動作することなどを学び、神経と筋肉が一体のものであるということを理解する。	2	初動負荷トレーニングにより、神経と筋肉の合目的な協調性（神経協応能）を高め、神経・筋機能（相反神経支配・反射）や、血流及び代謝、老廃物の除去、身体の歪みの矯正、関節や筋肉及び精神的ストレスの除去などを促進させる。
	9			8	
	10			8	
	11			8	
	12			8	
3	1		ディップス・チェスト SP・ラットマシーン・プルオーバー・サイドベンド・アウター・LP・インナーサイ・インナーサイ捻り・マシンスクワットなどを組み合わせ実践する。	4	柔軟性の向上から、弾力性を向上させるトレーニングに移行させ、競技力の向上に結び付けたい。
	2			6	
	3			6	

教科名	総合	科目名	選択スポーツ	単位数	2単位
対象学年	第2学年	対象コース	スポーツ科学 特進クラス	履修形態	必修
科目の目標	各種運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	学ぶ内容を生徒自身が選択し、自分の学びたい競技に対して能動的かつ、積極的に取り組みをおこなう。実技のみにとどまらず、コンディショニングや理論も合わせながら授業をおこない、その専門性をより深く学べる機会とする。				
科目の評価基準（観点及びその趣旨）	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解	
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように、自ら進んで計画的に運動しようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、体力向上のための合理的な行い方を身につけている。	運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。	
教科書、教材など	特になし				
授業形態	実技（学習内容選択型授業）				

年間授業計画

学期	月	単元	単元の目標	学習内容（実験・実習等）	時間	評価
1	4	オリエンテーション 選択競技の選択	年間計画を十分に理解し、授業に積極的に参加できるようにする。	授業の内容、方法、評価などについて説明する。	6	授業中の行動の観察 授業中の行動の観察
	5	各分野での活動	県総体に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	6	授業中の行動の観察 授業中の行動の観察
	6	各分野での活動		専門的な実技・戦術を学ぶ	8	授業中の行動の観察
	7	各分野での活動	全国大会に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	8	授業中の行動の観察
2	8				2	
	9	各分野での活動	新人戦に向けての取り組み	専門的な実技・戦術を学ぶ	8	
	10	各分野での活動			8	授業中の行動の観察
	11	各分野での活動			8	
	12	各分野での活動	冬季トレーニング等		8	
3	1	各分野での活動			4	授業中の行動の観察
	2				6	
	3				6	